

台湾情報誌

交流

2015年3月 vol.888

公益財団法人 交流協会
Interchange Association, Japan

霧社に桜を
～日台友好の桜を霧社に～



交流

2015年3月
vol. 888

目次

CONTENTS

| | |
|---|----|
| 霧社に桜を ～日台友好の桜を霧社に～ (松本或彦) | 1 |
| 【台湾内政と日台関係をめぐる動向(2015年1月上旬～2015年3月上旬)】 立法委員補欠選挙と次期総統選挙へ向けた与野党の動き (石原忠浩) | 8 |
| 2014年第4四半期の国民所得統計及び2015年予測 | 16 |
| 2014年第4四半期国際収支を発表 | 24 |
| こまつ歌舞伎未来塾台湾公演事業 —第七回青少年才藝逗陣大會— (こまつ歌舞伎未来塾) | 26 |
| コラム | 36 |

※本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、公益財団法人交流協会の公式意見を示すものではありません。

※本誌は、利用者の判断・責任においてご利用ください。

万が一、本誌に基づく情報で不利益等の問題が生じた場合、公益財団法人交流協会は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● ● 交流協会について ● ●

公益財団法人交流協会は外交関係のない日本と台湾との間で、非政府間の実務関係として維持するために、1972年に設立された法人であり、邦人保護や査証発給関連業務を含め、日台間の人的、経済的、文化的な交流維持発展のために積極的に活動しています。

東京本部の他に台北と高雄に事務所を有し、財源も太宗を国が支え、職員の多くも国等からの出向者が勤めています。

霧社に桜を

【台日文化交流】暨【友好之櫻到霧社】
2015年2月1日 櫻植樹

実行委員長 松本彥彦

日台スポーツ・文化推進協会は、台湾・南投県仁愛郷（霧社）公所との共催で、2月1日“霧社に桜を”プロジェクトを実施した。このプロジェクトは、台湾が日本の植民地であった1930(昭和5)年に霧社事件と呼ばれる抗日暴動が起こった霧社に、和平と友好の証として日本の桜を贈り、文化交流を通じて相互理解を進展させようというものである。

同協会は2005年に設立され、各種文化交流に携わってきたが、特に2011年の東日本大震災後、「謝謝台湾」をスローガンに同年の「黒潮泳断チャレンジ」、2012年「絆の桜植樹祭」（八田與一記念公園）、2013年「八田與一の手紙贈呈式」（台南）などを実施してきた。

今回のプロジェクトも「謝謝台湾」活動の一環ではあるが、霧社において行ったことには次のような理由がある。

2012年に八田與一技師と同郷（石川県）の森喜朗元総理にご同行いただき、烏山頭ダム近くの八田與一記念公園に植えた桜が、一年後には活着率40%という結果になってしまった。当初、公園やダムの周辺に毎年植え続ける予定をしていたのだが、嘉南地方の暑い気候は残念ながら日本の桜には不向きだったようである。

次の計画に思案しているところに、台湾の友人から霧社に行ったことがあるかとの電話をもらった。私は日台交流に携わってほぼ半世紀、訪台歴も200回近くになるが、霧社には足を踏み入れたことがなかった。霧社事件と呼ばれる悲惨な事件があったということは知っており、霧社に関心が無かったわけではないが、正直進んで行ってみた

と思うことはなかった。

友人の話によれば、霧社は標高1200メートルの山岳地で、冬期は寒く、かつて日本時代には沢山日本の桜が咲いていたそうだという。一度案内をするから行って見ないか、と誘われて腰を上げた。最初に出向いたのは一昨年（2013年）3月。結局このプロジェクト実施までに7回も出かけたことになる。

ところで霧社事件とは、一体どんな事件であったのか、もう少し触れてみることにする。繰り返すが、1930(昭和5)年の10月27日台中州能高郡霧社の原住民セデック族マヘボ社の頭目モーナ・ルダオ率いる若者約300名が蜂起し、霧社公学校で開催中の運動会会場を襲撃して日本人137名を殺害した。これに対し日本側は、軍と警察部隊にさらに蜂起に加わらなかった「味方蕃」を動員し鎮圧にあたり、双方合わせて1000名近くの死者を出している。簡単にいえば、これが霧社事件の概要である。

原因については諸説あるが、文化の違いから生じた原住民の日本の統治に対する不満の暴発といえるのか。その頃原住民たちは「首狩り」の習慣があり、病人が出れば呪いによって治癒しようとする生活をしてきた。総督府は、彼らの生活改善を目指し、道路の整備、学校や病院などの建設に使役を課した。こうしたことへの日頃の不満に、巡査が原住民を殴打するという事件が火をつけた。

モーナ・ルダオの長男が、巡回中の吉村巡査を結婚式に招こうとして手を取ったところ、不潔と感じた巡査がステッキで彼を叩いた。これを侮辱と受け取り、巡査を殴ったものといわれている。

昨年刊行された昭和天皇実録に霧社事件に関する天皇のご発言が記されている。石塚英蔵台湾総督から事件の報告を受け、1931年1月16日牧野伸顕内大臣に「事件は単に一巡査の問題ではなく、そもそも我が国の新領土の人民に対する統治官憲の態度は甚だしく侮蔑的、圧迫的であるように思われ、統治上の根本問題であると考えられる」と語られたと。

昭和5、6年といえば、日本でも公開され話題になった映画『KANO』と同じ年代である。地図で見れば山をいくつか隔てるが、霧社から距離的にはそんなに遠くない嘉義での話である。日本人の近藤兵太郎という先生に指導された嘉義農林学校の野球チームが台湾代表となり、甲子園に出場して準優勝をした時のことを映画化したものである。このチームの特徴は、日本人、原住民、台湾人（漢人）の混成であった。烏山頭ダムが完成したのも1930年である。一方では日本人と原住民が殺し合い、他方では一緒に歓喜に湧いている。俯瞰するとこの時期の台湾社会は複雑な様相を呈していたわけである。

この事件からすでに80年以上が経過しているが、原住民たちは日本、日本人に対しどのような感情を抱いているのか。私は霧社に入って先ず何人かに率直に尋ねてみた。「歴史を忘れることはできない。でも日本人と和解をして、将来に向けた友好関係を築いていくことは必要である。」これがほぼ共通した答えだった。

和解とは、表現を変えれば仲直りということである。原住民にとってみれば、80年以上も経っているのに未だ仲直りがなされていないということなのか。私は複雑な心境になった。しかし同時に日本人と仲良くしていきたいという気持ちがあることがわかり、願ってもないことであると嬉しく受け止めることができた。

そして和平と友好の証に日本の桜を贈ってくれないかという話になった。それが過去に涙した多くの悲しみを癒やし、友好のきっかけになるならば是非とも実行するべきではなからうかと思った。

霧社では深紅色の山桜や霧社桜と呼ばれる白い桜が咲く。その中に日本の桜が仲間入りして春には競艶する。そんな風景をイメージして胸をときめかせた。この一帯が桜の名所となり、多くの人々、特に日本人も訪れる意義ある観光地として発展すれば、霧社の人たちも喜んでくれるのではないか。「黒潮泳断チャレンジ」以来の若手リーダー鈴木一也君をはじめとするボランティアメンバーに働きかけ、日台スポーツ・文化推進協会に“霧社に桜を”実行委員会を設け、早速桜を贈る準備に取りかかった。

公益財団法人交流協会、台北駐日経済文化代表處の後援、台湾交通部観光局の協力さらに廖了以先生、海部俊樹、森喜朗両元総理、小泉進次郎代議士をはじめ、学者、文化人など各界のご理解を得て応援団を組織した。仁愛郷公所すなわち霧社の役場からは、正式に我々の実行委員会と共催で式典を実施しようという話が出た。勿論、当方に異論などあるわけがない。こうして現地でのこのプロジェクトは公式行事として行われることとなった。

これまで台湾の各地に桜を植えてきた経験上、染井吉野を台湾で咲かせるのは難しいことだと知っている。しかし日本の桜といえば、なんといっても染井吉野である。この桜は、年間に20日以上寒い日がないと咲かないと聞くし、枝が鳥の巣のようにくしゃくしゃと丸くからみあう様なテングス病とかに罹りやすいという。寒さという条件に関しては霧社は問題無いが、専門家のアドバイスを受け、花が染井吉野に似ていて病気にも

強いとされる神代曙という品種を400本、それに台湾には1本もないという枝垂れ桜100本を贈ることにした。日本で検疫を受け、さらに台湾でも仮植えをして1年間の検疫を受ける。しかる後に目的地に移植できるという手続きが必要なのである。イベントの実施日を現地と相談の上2月1日と決め、その前に最終検疫が終了するよう昨年1月に苗木計500本を出荷した。

霧社で友好行事を催すとなれば、なるべく多くの日本人に参加をしてもらいたいと思い、「恩讐を超えて友好を」という呼びかけで広く募集を始めた。仁愛郷公所の担当者とも協議を重ね、イベントの正式名称は、標記のように決定した。桜の贈呈・植樹だけではなく、相互理解に少しでも役立つようにと文化交流も行うことにした。

準備もほぼ順調に進んでいた昨年の11月29日、台湾では地方自治体の選挙が行われ、仁愛郷長がそれまでの郷長とは反対派の人に交代することになった。私は、前郷長の下で進めてきたこの企画が激しい選挙戦を経て当選した新郷長に素直に引き継がれるかどうか不安を抱いた。最終打ち合わせの為に霧社を訪れた12月19日の夜、嬉しいことがあった。12月25日に新郷長の就任式を迎える孔文博氏が、家族との夕食会に私を招待してくれたのだ。

初対面にもかかわらず、孔氏にはこやかに私を迎え、夫人をはじめ家族一人ひとりを紹介し歓待してくれた。是非“霧社に桜を”プロジェクトを力を合わせて成功させようと私の手を固く握りしめてくれた。孔文博氏は、御実兄の孔文吉立法委員の秘書を務めていたという。堂々たる体躯に柔和な表情を浮かべたいかにも包容力がある人物というのが私の第一印象である。宴の最中、抗日英雄とされている霧社事件の首謀者モーナ・ルダオのひ孫に当たるヨン・パーワン夫妻を呼んで引き

合わせてくれた。案ずるより産むが易し、すべてはうまくいくと確信を持つことができた。

このプロジェクトに参加したいという人の数も日に日に増えて、日本全国から約200名、在日日本人約50名と予想を上回り、私の責任も一段と重く感じられるようになった。せっかく霧社まで行っていただくのだから参加者全員に霧社事件について一定の知識を身につけてほしいと考えた。そこで霧社事件の研究者としては第一人者である早稲田大学台湾研究所の春山明哲氏と台湾に関する著作を何冊か出版している友人のノンフィクション作家の門田隆将氏に現地で講演をお願いすることにした。

1月30日。いよいよプロジェクト実施の日が迫ってきた。実行委員会のメンバー数名が先発。朝羽田を発って、夕刻には宿泊先の廬山温泉のホテルに到着。早速準備にとりかかる。

廬山温泉は、霧社の中心地から車で20分ほど先に進んだ台湾で最も高い所にある温泉である。日本時代には富士温泉と呼ばれ、碧湖に注ぐ川辺にホテルが並ぶ温泉郷である。しかし数年前の洪水によって兩岸のホテルが数軒流失され、その痕跡が生々しく残っている。そんな影響もあって、その後廃業するところも増えているという。往時は賑わっていたであろうと想像させる雰囲気はあるが、今は寂れてしまっていて気の毒な思いがした。

1月31日。「恩讐を超えて友好を」としてスタートしたこのプロジェクトである。私は、事件に関係した全ての人々の霊を慰めることから始めたいと思い、メンバーと連れだって数カ所を巡礼することにした。最初にモーナ・ルダオをはじめとする「抗日英雄」とされる人たちの墓。そして日本人137名が殺害された旧公学校校庭（現在は

台湾電力用地)、次いで今なお70数体の遺骨が埋まっている日本人墓地の跡地、さらに事件の最中日本人を救助したセデック族の老頭目ワリスブニの墓に詣で、献花をし、黙祷を捧げた。途中会場へ立ち寄ってみると、何組かの母子たちが会場の周囲を飾るため、桜の花びらを模した紙を糸に括り付ける作業を一生懸命やっていた。その様子を見て胸が熱くなった。原住民の人たちも私たちと同様、明日のイベントに思いを馳せているのだろうと。

原住民でありながら日本の警察に登用された二人のセデック族がいた。彼らは事件発生によって日本人と自分たちの部族との間で板挟みになり、苦しみ抜いた挙げ句、一人は割腹自殺、もう一人は首を吊って亡くなった。兄弟ではないが同じ花岡姓である。つらいことにこの二人の家族たちも同じ場所で後を追って亡くなったという。その場所というのは霧社の集落からかなり奥まった、その後花岡山と呼ばれるようになった小高い山である。今ではこの二つの家族が眠っている花岡山を知っている人は霧社にも殆どいないようだ。

日没少し前、私たちは役場の人をお願いして花岡山にお参りに行くことにした。先ず集落のはずれに近い一軒に80歳を過ぎたお婆さんを訪ねた。その方は花岡一郎の親戚だという。彼女は人里離れたその山と谷一つ隔てた所に案内してくれた。そこで、お婆さんはセデック族の言葉で、花岡山に向かって、私の手を取り「日本人がお墓参りに来てくれましたよ」と呼びかけた。さらに美しい澄んだ声で歌をうたった。まるで映画のような実に感動的なシーンで、思わず涙が溢れた。

花岡一郎、次郎そして彼らの家族たちの当時の心境を想像し、私も思い余って山に向かって大声で叫んだ。「霧社の人たちと仲良く付き合っていくために、日本の桜を届けに来ました。皆さんが尊い命を亡くして85年が経とうとしています。



花岡山に向かって

どんなにか辛い思いをしてこられたことでしょう。どうか安らかに眠ってください。』

山岳地帯の霧社の夕暮れは早い。明日の好天を占うかのような美しい夕焼けも、あっという間に闇に包まれる。6時半頃、東京、名古屋、大阪からの参加者一行が、廬山温泉のホテルに到着した。それぞれのグループが、早朝日本を出発し、台北から台中までは新幹線、さらにバスを乗り継いで埔里経由霧社へという行程である。

霧社の入り口ともいべき「人止めの関」からは急勾配のうねった山道が続く。女性や高齢者の中には気分が悪くなる人も出るのではないかと心配していたが、杞憂に終わった。最高齢は86歳で、80歳以上の参加者が7名。全員が大丈夫と笑顔で応えてくれた。

一息ついて夕食会と二人の講師による研修会を開催し、その後は各々温泉を楽しんで旅の疲れを癒やした。

2月1日、本番の日。

会場は二カ所に設営されている。一つはかつて事件のあった旧公学校校庭の跡地で、現在は台湾電力の用地となっている広場。もう一カ所は道路を挟んだ坂下の隣地である。こちらがメイン会場で、早朝から立派な仮設ステージと会場を覆うテ

ントが張られ、椅子が500脚用意されている。ステージ上には音響装置一式がセッティングされ10時の開会を待つばかりに準備は完了。朝から快晴に恵まれ、山あいの空気は実に美味しい。しかも会場の周りを山桜が取り巻くように満開に彩り、言うこと無しの状況。

孔文博郷長は9時前から会場に出向き、手伝いの人たちに声をかけている。日曜の休日を返上して働いてくれている公所の人たちだろう。9時過ぎになると原住民の家族や台湾日本人会の人々、そして日本からの一行が次々に来場。テントの脇には山豚を丸焼きする煙が立ちこめ、原住民がついた餅や白酒が模擬店のように並んでいる。今では貴重な原住民の織物を実演する用意もされている。

来賓の日本側、交流協会台北事務所沼田幹夫代表、浜田隆総務部長と鈴木康弘領事、台湾日本人会の荒牧直樹常務理事をはじめ幹部の方々、台湾側、外交部亜東関係協会羅坤燦秘書長、孔文吉立法委員、呉文思仁愛郷民代表会主席、南投県陳正昇副県長と王源鐘観光處長も相次いで到着。

10時、司会者が開会を告げ、東京芸大出身で世界各地を巡礼演奏し続けている西村直記氏が自ら作曲した荘重な「霧社の調べ」の演奏でオープニング。現地主催者を代表して孔文博郷長が「日本

から贈られた桜は、友好の象徴であるのみならず、仁愛郷にさらなる彩りを添えるものであり、しっかりと育てて美しい花を咲かせたい」と挨拶し、日本側への謝意を述べた。次に私が実行委員長として、プロジェクトの主旨、目的さらに将来への夢について触れ、日本にとってかけがえのない友人である台湾の皆様へと「謝謝台湾」「日台友好、永遠なれ」をアピール。来賓である沼田代表からは、このプロジェクトの歴史的意義について評価を戴き、「本日植樹される桜は、これから10年、20年、50年、そして100年とここ霧社で美しく花を咲かせるでしょう。」と、南投県を代表した陳副県長からは「このプロジェクトは歴史を超越した友好であり、感動を覚える。今回の桜植樹によって台日友好はさらに深まり、日本人の観光誘致も進み、仁愛郷の観光発展にもつながるものである。」と賛辞を戴いた。

孔立法委員は、父親が昔日本名を田中学といい、廬山地域では日本語教師を務めていたということ、さらに日本に対する感謝の記念として家の側に桜を植えていたということなど日本に対する友好の気持ちを述べられた。

私から郷長へ桜の目録贈呈を行い、次いで全員で、歴史を思い起こし、全ての御霊に対し和平と友好の誓いを込めて一分間の黙祷を捧げ、代表者による献花を以て式典を終了した。その後、舞台



盛大な開会式の様子



挨拶をする松本実行委員長



仁愛郷長に目録を贈呈



桜の植樹風景



霧社事件の全ての犠牲者に対し献花



仁愛小学生の伝統舞踊

を旧公学校校庭跡に移し、植樹、写真撮影、全員による献花。再びメイン会場に戻り、地元名物の排骨飯弁当や模擬店に並ぶ霧社のご馳走に舌鼓を打ちながら第2部文化交流へとプログラムは進行した。

女流書道家佐竹燿華さんによる「桜舞」二文字の書道パフォーマンス、タレントでもあるソロシンガー鹿谷弥生さんのギターによる弾き語り、西村直記氏の自作「霧の社(やしろ)」の歌唱、鏡味仙志郎、翁家和助両氏による太神楽(曲芸)が日本側から披露された。原住民側からは、仁愛小学校生徒によるセデック族の伝統舞踊、喜裂克文化芸術団による歌と踊りの民族芸能。どれも素晴らしい芸能文化である。

これらの出し物の合間合間に日本企業から提供された品物やプロカメラマンが撮影した富士山の写真のパネル(5枚)、エバー航空の東京・台北間の航空チケット(2枚)等の福引き抽選を行った。最後に大いに盛り上がったのは、霧社の春陽教会の女性たちが披露した東京音頭の踊りである。100年も前に日本教師に教えられ、それを現在まで代々受け継いできているのだという。「踊り踊るなら、ちょっと東京音頭」そのままであるが、霧社事件を経ながらも日本の民謡を踊り続けてきた理由は何だったのか、私には不思議に思えた。原住民の間に入って日本人も一緒に輪を作って全員で踊り、これがフィナーレとなって3時前に全てを終了した。

日本人の一团が次々に会場を退出するまで孔郷



原住民と一緒に東京音頭

長をはじめ公所の人たちが手を振って見送ってくれた。私たち実行委員会メンバーも霧社の人たちと別れの挨拶を交わし、うしろ髪を引かれる思いで霧社を後にした。

この日の催しは台湾のテレビ、新聞、日本の新聞でも報道されたが、そのいずれもが好意的な内容で、一つとして批判的なものがなかったのは率直に言って嬉しかった。霧社という歴史的に特別な地域での行事には、台湾で一部「なんで今さら霧社で」という中傷的言動があったことも知っている。しかし私には霧社の人たちが和解と友好を望んでいるのに、何もせずに歴史の傷跡に蓋をして、そのままに放置していいとは思えなかった。私たちの協会は、もとより民間団体であり、実行委員長の私とて一民間人に過ぎない。従って、今回のプロジェクトが成功したからといって、それで果たして霧社と日本との和解が実現したと言えるかどうか分からない。先方がどのように受



セデック族の皆さんと

け止めてくれたのかは、いずれ機会をあらためて聴いてみたいと思う。しかし、なんといっても仁愛郷公所という公的機関が、私たち協会と共催という形をとり、新郷長が積極的に協力してくれたことは事実である。そのことが日本との平和と友好を望んでいる何よりの証であると理解して間違いない。そして霧社の住民たちも、日本に対し、長く閉ざしていた心の扉を開き、友好に向けた関係改善に気持ちを動かしてくれたのではないかと期待をしている。これで霧社との関係が全て終わったわけではない。今後どのように付き合っていくべきなのか、課題は残っている。

終わりにこのプロジェクトを後援して下さった公益財団法人交流協会、台北駐日経済文化代表處、また台湾交通部観光局、財団法人台湾武智紀念基金会さらに多くの法人、個人の皆様に心から感謝を申し上げる次第です。

台湾内政と日台関係をめぐる動向（2015年1月上旬～2015年3月上旬）

立法委員補欠選挙と次期総統選挙へ向けた与野党の動き

石原忠浩（台湾・政治大学国際関係センター助理研究員）

（元（財）交流協会台北事務所専門調査員）

2月7日に投開票が行われた立法委員補欠選挙の結果は、民進党が3議席、国民党が2議席を獲得し、「引き分け」に終わった。民進党は2月中旬に次期総統選挙の立候補を選出するため党内予備選の立候補の届出を行ったが、蔡英文主席のみが届出を出し、蔡主席が事実上党の公認候補に確定した。選挙事務の主管機関である中央選挙委員会は次期総統、立法委員選挙を同時に行う決定を公表した。馬英九国民党主席の辞任に伴い、実施された同党主席選挙は、朱立倫新北市長だけが立候補し、同人が主席に当選、就任した。

台湾南部5県市長が、千葉幕張で開催された「FOODEX JAPAN2015」に出席するため訪日し、台湾の飲食品をアピールした。

一、立法委員補選は民進党3議席、国民党2議席獲得で「引き分け」

1. 選挙結果の概要

昨年11月の統一地方選挙で5人の現職立法委員が県市長に当選（徐耀昌苗栗県長、林佳龍台中市長、魏明谷彰化県長、林明溱南投県長、潘孟安屏東県長）したが、2月7日に欠員が出た五選挙区で補欠選挙が実施された。

台湾ではこの選挙は統一地方選挙の延長戦とみなされたが、昨年の県市長選挙で大勝した民進党が余勢を駆って「全勝」の可能性も指摘され、1月中旬時点での世論調査では、南投第2区を除く4選挙区で民進党が優勢であり、投票1週間前の段階で民進党関係者は「拵五席全上」（全5議席獲得に挑む）、国民党は「喊保二槍三」（2議席を確保し、3議席を奪いに行く）との見通しをそれぞれが述べていた。

投開票3日前の2月4日に後述する復興航空の墜落事故が発生したことにより、国民両党陣営は最後の3日間は大規模な選挙活動を行うことを自粛した。選挙結果は、民進党が3議席、国民党が

2議席を獲得し、改選前の議席と同じ結果となった。（国民党64、民進党40、台湾団結聯盟3、親民党2、無所属等3）なお、5選挙区の平均投票率は34.6%であった。

本結果につき、民進党は選挙事務を取り仕切った蘇嘉全元秘書長が、「今補選で当選した立法委員の任期は短く（2016年1月まで）、過去の補欠選挙は投票率も低く、今回はさらに直前に航空事故が起き、民進党は選挙活動を停止したので、今選挙の結果に勝ち負けを言うのは難しいが、昨年の統一地方選挙で民進党は台中、彰化で大勝し、南投でも惜敗だったことを考えると今回の選挙結果は昨年の地方選に似た結果となった」と一定の評価を下した。国民党は、林奕華文傳会主任委員が「どうにか、現状維持を保つことができたが、検討と反省が必要であり、新思考を以って前進しなければならない」と指摘した。他の国民党の幹部は、「全体的な情勢が国民党に不利な中、今補選は何とか退潮傾向を止血したといえるが、今後の党及びシンクタンクの改造、地方組織の整頓を進めなければならない」と気を引き締める発言がなされた。

表1 立法委員補欠選挙の主な結果

| 選挙区 | 国民党候補現前職 | 当落 | 得票数 得票率 | 民進党候補現前職 | 当落 | 得票数 得票率 |
|-----------|-------------------|----|------------------|----------------|----|------------------|
| 苗栗 第2区 | 徐志榮 (公館前郷長) | ◎ | 47,105 58.21% | 吳宜臻 (立法委員) | × | 32,966 40.74% |
| 台中 第6区 | 蕭家淇 (行政院前副秘書長) | × | 32,917 42.17% | 黃國書 (台中市議) | ◎ | 45,143 57.83% |
| 彰化 第4区 | 卓伯源 (前彰化縣長) | × | 34,707 35.82% | 陳素月 (彰化県議) | ◎ | 51,907 53.61% |
| 南投 第2区 | 許淑華 (前南投市長) | ◎ | 38,694 50.82% | 湯火聖 (元立法委員) | × | 34,938 45.89% |
| 屏東 第3区 | 廖婉汝 (元立法委員) | × | 20,627 31.61% | 莊瑞雄 (前台北市議) | ◎ | 42,988 65.87% |

資料元：「立委補選 藍2止血綠3平盤」『聯合報』（2015年2月8日）頁1。

当地各紙は、『聯合報』、『自由時報』ともに、「平穏な結果であったが、卓伯源前彰化県長、蕭家淇元台中副市長(前職は行政院副秘書長)の惨敗は、多くの人を驚かせた」と指摘し国民党の退潮は止まっていないと論じた。

2. 各選挙区の結果

(1) 苗栗2区

苗栗県公館郷で郷長を二期務めた徐志榮氏が民進党の比例区選出の立法委員で昨年の統一地方選挙で党公認で苗栗県長選挙で落選した吳宜臻の挑戦を退けた。同選挙区は民進党にとっては困難区であることから、当初は昨年のひまわり学生運動でリーダーの一人としてその名を馳せた陳為廷氏が無所属候補として出馬し、台北市長選挙の「柯文哲モデル」として、党公認候補を立てず、陳為廷氏を支援し無党派層を取り込み国民党候補と戦う戦略が模索されたが、12月末に陳為廷本人が、過去に猥褻容疑で起訴猶予の事実があったことを告白し、最終的には出馬を断念したなどの紆余曲折があり、民進党側は準備不足の感があった。

(2) 台中6区

台中市議を5期勤める黄国書氏が前述の蕭家淇元台中副市長を大差で退けた。黄氏は民進党成立

時からの古参党员であり、多くの先人の秘書、選挙など政治活動に携わってきた。一方で国民党の蕭氏は胡志強前市長の下で副市長を務め、国民党における台中市長候補と囑望されたこともあったが、行政院の政務官職へ異動した後、今回新たに「地元」に戻っての選挙となったが、大敗を喫することとなった。

(3) 彰化4区

県議を二期務めた陳素月女史が、県長時代の施政満足度が高かった卓伯源前県長を大差で下した。本来陳女史は、魏明谷氏が県長に当選することを見越して同補選の準備を1年以上も前から進めていたが、昨年の統一地方選挙で同県内の員林郷長選挙で同党候補者が決まらなかったことから、急遽候補に担ぎ出されたものの落選の憂き目にあっていたが、今補選で雪辱を果たすこととなった。

(4) 南投2区

南投県議、南投市長を努めた許淑華女史が、国民党にとって逆風の中、民進党の湯火聖元立法委員を僅差で退けた。許女史は、170センチ以上の長身にモデルのような容姿を擁し政界の「漂亮寶貝」と呼ばれているが、市長時代の観光建設、交通網整備などに執行力を発揮し、党内でも将来が囑望される政治家であるとされている。

(5) 屏東3区

民進党公認候補の莊瑞雄氏は、弁護士出身、台北市議を二期勤めたが、度々有線テレビの政治討論番組に登場し、鋭い弁説で国民党を批判してきたことから、台湾全体でも知名度の高い地方議員であり、蔡英文主席の下で台北市党部主任委員を務めたが、昨年の台北市議選には出馬せず、今回の補選に備えて準備をし得票率65%を獲得し、圧勝した。

二、次期総統選挙関連

来年1月にも投開票が実施される次期総統選挙に向けた動きが活発化してきた。

1. 民進党の動向

1月28日当地各紙は、民進党が次期総統選挙の党内予備選の日程を従来より1ヶ月以上も前倒しし、2月中旬に候補者の登記手続きを完了させ、2月末から2週間ほど政見討論会を行い、3月中旬に候補者の世論調査を実施し、4月中旬には公認候補を正式に公告する予定であると報じた。同決定につき、党内では賛否両論が噴出したが、その中には、4年前も蔡主席と総統候補の座を争い、出馬が取りざたされた蘇貞昌前主席から、「何故、こんなに急ぐのか?」との疑義が出された。

同28日に開催された党中央常務委員会では、2月12-16日に候補者登記、2月26日-3月15日に政見発表会、3月16日-18日に世論調査、4月15日に候補の公告発表とする草案が、異議なく採択された。同決定後、蔡主席は、今回の候補選を例年より早く行うことにつき、蘇前主席など党関係者に十分な説明をする前にメディアに報道されたことを陳謝すると、一部で指摘された「蔡主席は自分のために作った規定ではないか」との疑義に対し、「今回の決定は基層レベルの期待と反応に応えた」として理解を求めた。

緑軍支持者の中には、蔡主席の出馬を期待する声が大きいが、独立派長老で2008年には蔡主席と主席の座を争った辜寬敏元総統府資政が、頼清徳台南市長に対し総統候補の予備選に出馬するよう呼びかけた。その頃、頼市長は「不出馬」を暗示するような発言を繰り返していた。実際に緑軍支持者の基層レベルでは、嘉義では蔡英文主席を、台南では頼市長を推す横断幕や看板が出現するなどの様相を呈していた。党内予備選届出の日程が迫り、要人の動向に注目が集まる中、2月6日に頼市長は自身のFBで予備選不出馬を表明した。同声明では自身の不出馬とともに、「蔡主席が最もふさわしい候補である」との指摘もなされた。頼市長の不出馬宣言から数日後、もう一人の有力候補と見なされ、候補選出日程の前倒しに疑義を唱え、昨年の今頃までは民進党内では「二つの太陽」と称されていた蘇貞昌氏も予備選の不出馬宣言を行い、党内で蔡主席に挑戦する有力者はいなくなった。

蔡主席は、満を持して2月14日に予備選出馬の表明を行い、翌15日には届け出を完了させた。届出の際には、注目される兩岸政策に関し、国民党政権の対中政策と最も異なる点は「国家主権を強固にすることを最優先する」との説明がなされた。その後、党中央は予備選出馬に届出を完了させたのは蔡主席だけであったことを公表し、25日に党中央執行委員会で候補者の審査を行い、最終的には4月15日に正式に党公認候補を決定すると説明した。

その後、3月上旬には、第三勢力から信望の厚い林義雄民進党元主席が、「蔡英文は適当な総統候補である」と発言するなど、緑軍陣営では、早くも蔡英文主席を支える協力体制が出来、良い雰囲気醸成されつつある。

2. 総統選挙にかかる世論調査

2月9日付『聯合報』は、次期総統選挙にかか

る世論調査を行った。「2016年の総統選挙ではどの政党が勝利しそうか」の問いに対しては民進党65%、国民党10%、意見なし24%、その他1%となり、台湾住民は次期選挙は民進党が政権を奪回することを予測する人が6割以上を占めた。また各党の有力者の支持度は、民進党は蔡英文46%、頼清徳18%、蘇貞昌7%の順位、国民党は朱立倫35%、王金平27%、呉敦義5%の順位となった。(表2)有力候補同士の対決では、民進党は蔡主席、頼市長が出馬し朱市長と対決した場合は、ともに民進党がリードする結果となった。

また『TVBS』が2月11日に公表した世論調査結果では、2016年の政権は「民進党政権を希望する」36%が「国民党政権に期待する」19%を大きく上回った他、政党への満足度も民進党43%、国民党10%と次期政権には民進党政権の出現を期待する声が高まっている。

次期総統選挙まで10ヶ月の時間を残し、党再建中の国民党は正式な候補者が決まる前の段階の調査であることを考慮する必要はあるが、現段階での台湾政局の雰囲気を中心に表すものとなった。

表2 国民、民進各党の支持率調査

| 国民党 | | 民進党 | |
|---------|----|---------|----|
| 朱立倫 | 35 | 蔡英文 | 46 |
| 王金平 | 27 | 頼清徳 | 18 |
| 呉敦義 | 5 | 蘇貞昌 | 7 |
| いずれも不支持 | 12 | いずれも不支持 | 6 |
| 未決定 | 21 | 未決定 | 23 |

表3 有力候補の支持率

| 候補と支持率 | 候補と支持率 | 候補と支持率 |
|-----------|-----------|------------|
| 蔡英文 47 | 頼清徳 43 | 蘇貞昌 28 |
| 朱立倫 33 | 朱立倫 34 | 朱立倫 46 |
| いずれも不支持 6 | いずれも不支持 7 | いずれも不支持 10 |
| 未決定 14 | 未決定 17 | 未決定 16 |

資料元：「2016 6成5看好緑執政」『聯合報』（2015年2月9日）頁1。

三、次期総統選挙、立法委員選挙の日程問題

選挙事務の主管機関である中央選挙委員会は、2月12日に会議を開催し、次期総統選挙と立法委員選挙を同時に実施する決議を下した。同時選挙にした理由について、同委員会は①「多数民意の支持と期待」②「同時選挙による行政社会コストの削減」③「選挙制度の維持と安定性」④「投票率が上がる」の四つを指摘した。①②④は受け入れ易い理由であるが、③については、2005年から立法委員は従来の任期を一年延長し4年とし、2010年からは直轄市と非直轄市の公職職員の任期も統一するなど、選挙事務の簡便化は政府規定の政策となり、2012年の前回の総統及び立法委員選挙も同時に実施したが混乱は無かったことから、次期選挙であえて別々に実施する理由はないと説明した。

この決定につき、国民党は当初不利な選挙情勢を見越して、一部からは同時選挙に難色を示す者も散見されたが、最終的には民進党と同様に「尊重する」として受け入れる姿勢になった。立法院に議席を有する台聯の関係者は、「前回の選挙で政党別の得票数で118万票をとっており、一定の支持率があるので同時選挙の影響はあまりない」との態度を示し、親国民党籍立法委員は、「台湾住民は国民党か民進党以外の第三の選択を求めている傾向が強まっているので、割り込む自信はある」と述べているところがあった。一方で立法院に議席を有していない樹党などの小政党は、「同時選挙により、小党は埋没する」として危機感を露にし、

失望を表明するところがあった。

その後3月9日に、中央選挙委員会は関係部門を招集し、次期国政選挙の投開票日を1月9日か16日のいずれかで実施するとの二案を提示し、同時期の高等教育機関の期末テストや公務員試験と重ならない日程を勧告し、最終決定する旨の決議を下した。

四、国民党主席就任後の動向

1. 党主席就任関連

馬英九総統が統一地方選挙敗北の責任をとり兼務していた国民党主席の辞任に伴い、実施された党主席選挙は、朱立倫新北市長だけが立候補し、同人が主席に当選した。過去にも候補一人だけの主席選挙（信任投票）を経験しているが、今回の朱主席は99.61%と史上最高の得票率を獲得した。（表4）2013年の選挙では、馬氏の施政への不満から、無効票が8%以上にのぼったが、今回の選挙では馬氏の一人選挙の得票率と比べても高く、党員の朱氏への期待が現れる結果となった。

注目の人事は、1月19日に専任の副主席に郝龍斌前台北市長と黄敏惠前嘉義市長を任命し、秘書長には朱主席の信頼の厚い李四川・元新北副市长（前行政院秘書長）を抜擢した他、副秘書長には立法院との関係を重視してか、黄昭順、盧秀燕の両女性立法委員を指名したのが注目された。

2. 王金平立法院長の党籍確認裁判の放棄問題

朱新主席は就任前から、党内団結と融和の立場

から、長老、立法委員などから、王金平立法院長の党籍訴訟問題について、王氏側から起こされた裁判に対して上告を止めるべきであるとの意見がだされていた。

かかる状況を受けて、2月25日に朱主席が主催した党中央常務委員会で「王院長の党籍確認裁判を引き継がない」決定を宣言したことで、同裁判は事実上の国民党の敗訴、王院長の勝利が確定することとなった。報道では、朱主席の同宣言の際には中央常務委員から、拍手喝采があったと報じられた。一方で、この決定に対し王氏の党籍剥奪処分を主導してきた馬前主席は47年の党歴を持つベテラン党員の立場で「受け入れ難い決定である」と厳しく批判した。当地新聞は、朱新主席が馬前主席と王院長の問題に異なる決定をしたことを大きく報じるとともに、『聯合報』は「国民党は正義の終わり、団結の始まり」と論じた。

基層党員や立法委員などは、党内団結の観点から訴訟問題をいち早く解決し、次期国政選挙に向けて挙党一致態勢を確立してほしいという切実な願いがある。特に、再選がかかる現職立法委員は、施政満足度の低い馬総統と国民党を早い段階で切り離し、「ポスト馬英九、朱立倫が率いる新生国民党時代」の雰囲気の中で選挙を戦いたい思惑が見え隠れしている。

3月2日に開催された国民党内の行政立法部門の議事運営会議には、朱主席のほか、馬総統、王院長の三巨頭が同席したが、その会議の際に党内で馬氏に対して常々歯に衣を着せぬ発言をすることで知られる羅淑蕾立法委員が、国民党を家族関

表4 2007年以降の国民党主席選挙の得票率等の比較

| 選挙年 | 当選者 | 得票率 | 得票数 | 投票率 |
|----------|-----|--------|---------|--------|
| 2009 | 馬英九 | 93.87% | 285,354 | 56.77% |
| 2013 | 馬英九 | 91.85% | 202,750 | 57.86% |
| 2015（補選） | 朱立倫 | 99.61% | 196,065 | 56.34% |

資料元：中國國民黨、中國國民黨104年黨主席補選選舉結果公告（2015年1月18日）等

係に例え「家族の中で大人が喧嘩ばかりしていると、家庭の雰囲気は暖かなくなり、子供は不良少年、少女になり、最終的には家出してしまうかもしれない」との比喻で党高官間の信頼友好関係が重要であるとの提言がなされた、この発言は国民党の基層党員の声を代表したものであった。

五、社会事件

1. 復興航空事故 43 人死亡 15 人負傷

2月4日午前、台北松山空港発金門行きの復興(Trans Asia)航空旅客機が、離陸直後に台北市内の基隆河に墜落する航空事故が発生した。同事故は43人が死亡(内訳中国籍28名、台湾籍15名)、15人が負傷する大惨事となった(その他、墜落中の事故機に接触したタクシー乗客2人が負傷)。事故発生当初は、操縦していたパイロットが、墜落事故の被害を最小限に食いとどめるため、機体を故意に河川に墜落させたとして、台湾社会では賞賛の嵐が吹き荒れた。

しかし、その後の暫定調査報告(最終報告は数ヶ月先と当局は発表)から当地報道では、今回の事故原因はエンジントラブルに加え、人為的ミスが重なったと報じられた。また、同社は昨夏に離島の澎湖島で着陸に失敗し、48人が死亡する事故を起こしていたことから、同社の管理体制への問題が指摘された。

その後、航空事務の主管機関である交通部民航局は、復興航空の事故機と同じ双発プロペラ機ATRの操縦資格を持つパイロットに対し、緊急対応時にかかる口答試験を行なった結果49人のうち10人が不合格になったと11日に発表した。同結果につき『りんご日報』は匿名の民航局関係者がこの不合格率の高さは「ひどすぎる」と批判し、専門家も「復興航空のパイロット教育と関連制度に問題がある」と批判したコメントを報じた。

2. 昨年のひまわり運動関係者で述べ100人以上が起訴

昨春、兩岸の間でサービス貿易の市場開放を主目的とした「サービス貿易協定」の立法院批准に向けた審議の際、国民党の立法委員が時間切れを理由に審議を強引に打ち切り、裁決に持ち込もうとしたことに対し、危機感を抱いた反対勢力はデモ行進を実施した後、3月18日に数百名が立法院に進入し、4月10日まで占拠する事件が発生した(318立法院占拠事件)。また、同抗議活動中の3月23日には、当局の対応に不満を持つ数百名が行政院に進入した事件がおきたほか(323行政院占拠事件)、4月11日に、中正第一分局警察署が無届で抗議活動をする人々を強制排除したことへの不満から抗議者が警察署を包囲した事件(411警察署包囲事件)が起こったのは記憶に新しい。

表5 ひまわり学生運動関連での起訴処分一覧

| 事案 | 3月18日 立法院占領 | 3月23日 行政院占領 | 4月11日 警察署包囲 |
|------|---|--|---|
| 事案内容 | 3月18日、黄国昌中央研究院研究員らが市民を率いて、立法院に突入、4月10日まで占領した事件。 | 学生の立法院占領を支援する学生と一般市民が、行政院に侵入し、翌早朝に警察による強制排除まで占領した事件。 | 警察署中正第一分局が市民の集会許可を出さなかったことへの不満から、学生及び市民が同分局を包囲した事件。 |
| 時 間 | 3月18日～4月10日 | 3月23日～24日 | 4月11日 |
| 被 告 | 黄国昌、陳為廷、林飛帆、蔡丁貴等22人 | 魏揚、蔡丁貴、陳廷豪等93人 | 洪崇晏等4人 |
| 起訴罪名 | 煽動罪、公務執行妨害、集会デモ法等 | 煽動罪、建造物侵入罪、器物損壊罪、窃盜罪等 | 集会デモ法、公務員侮辱罪、公務執行妨害等資料 |

元：「太陽花學運起訴一覽」『聯合報』(2015年2月11日)頁5。

台北地検は2月10日、これら3事案について捜査を終了し、煽動罪、公務執行妨害等の罪で延べ119人を起訴した。(表5)中国寄りの論調が顕著な『中国時報』は、2月11日付朝刊の一面トップで、「太陽花三大案起訴5大寇」(ひまわり運動三大事案で5人の大ワルが起訴される)として、黃國昌中央委研究員副研究員、蔡丁貴元環境保護署副所長のほか、大学院生の陳為廷、林飛帆、魏揚の5名を写真付きで掲載した。

検察の起訴に対し、国民党関係者の多くは「尊重する」とのローキーな対応が多くを占めたが、強硬派で知られる蔡正元立法委員は、「遅くやってきた正義」、「法治国家としての最後の一线を守った」と評価した。民進党陣営では、陳其邁立法委員が「今回の起訴は、政治的な理由による起訴、報復的な起訴ではないのか」と批判するところがあった。

3. 高雄監獄人質立てこもり事件

2月11日から12日にかけて、高雄市大寮監獄で6人の受刑者(懲役28年6ヶ月から無期懲役の重罪犯)が銃など武器を強奪し、監獄関係者を人質にとり立てこもり、警察と対峙する事件が発生した。当初は、逃亡するための車を監獄関係者に用意させるなどの動きもあったが、警察に包囲された後は逃亡を諦め、「我々の刑が重過ぎる、陳水扁前総統に対する厚遇、監獄生活環境の悪さ」などの要求を訴えた。11日夜から12日早朝までこう着状態が続いたが、12日早朝に容疑者6人全員は拳銃自殺し、人質になっていた監獄関係者は全員負傷することなく生還した。

事件が平和裏に解決した際、他の監獄関係者を助けるため自ら人質になったと説明していた陳世志典獄長(監獄長)はその行為が英雄視されたが、その後の法務部の一連の調査で、陳監獄長の当初の発言に偽称があったほか、緊急時の対応にも深刻な瑕疵があったことが判明し、陳監獄長は公務

員にとって「大過」という一回の処分ですつ付くと免職になる降格処分を受けた。またその他の監獄関係者計23名も処分を受けたと報じられた。

六、日台関係

1. 呂秀蓮元副総統が訪日、東京で講演

陳水扁前総統とともに2000年から2008年まで副総統を務めた呂秀蓮元副総統が訪日し、東京の日本外国特派員協会で「平和と中立：変動するアジア太平洋における台湾の選択」と題した講演を英語で行なった。同講演で呂元副総統は、同女史の副総統時代からの持論である台湾が有するソフトパワーを活用して、日米中など主要国と平和的な往来を促進し、アジア太平洋地域でピースメーカーとしての役割を果たしていくべきだとの主張がなされた。

2. 台湾南部の五県市長が「FOODEX JAPAN」に出席

3月3日から6日まで幕張で開催されたアジア最大の食品飲料専門展示会「FOODEX JAPAN 2015」に台湾南部5県市の首長(陳菊高雄市長、頼清徳台南市長、李進勇雲林県長、張花冠嘉義県長、潘孟安屏東県長)が台湾パビリオンで行なわれた開幕式典に参加した。同式典で陳菊高雄市長は、台湾食品の安全性や美味しさをアピールしたほか、沈斯淳代表は食品貿易を通じて日台関係がより緊密になることに期待を示すところがあった。

3. 日台漁業交渉

2013年4月に署名された日台漁業取り決めに基づき設置された、日台漁業委員会第四回会合が3月4日から7日まで東京で開催された。同会合には台湾側からは、漁業署長、駐日代表処副代表、日本側は水産庁次長、交流協会本部総務部長など

が出席した。台湾側の報道では、3月5日の定例記者会見で周学佑外交部アジア太平洋局副局長が、「今会合の主な焦点は日台漁船が特別協力水域における操業する距離であり、操業トラブルの回避のため日本側は4海里を主張しているのに対し、台湾側は1海里を主張している」との説明がなされた。

3月7日に交流協会が発表したプレスリリースでは、「トラブルなく操業できるようにするためのルール」、「トラブルが起きた場合の円滑な解決に関するルール」につき意見が一致し、日台それぞれの関係当局に通報し要請すると発表した。特別協力水域における操業方法に関しては、操業時間、範囲、1日の投縄回数なども定めた。なお、

操業漁船の操業距離については、日本の操業方法で操業する北緯26度以北では船間距離を4マイルとし、台湾の操業方法で操業する北緯26度以南での船間距離は1海里（約1.852K）とされた。また当該海域周辺で操業する台湾のはえ縄漁船は日本の小型漁船の操業に配慮しなければならないことも明記された。今回の合意事項は2015年5月1日から7月31日までの間の操業に適用される。

なお台湾外交部は、プレスリリースで今会合結果につき、日台双方の秩序ある操業方法を確立し、海洋資源の共同維持に役立つものであると指摘した。

2014年第4四半期の国民所得統計及び2015年予測

2015年2月16日 行政院主計総処発表

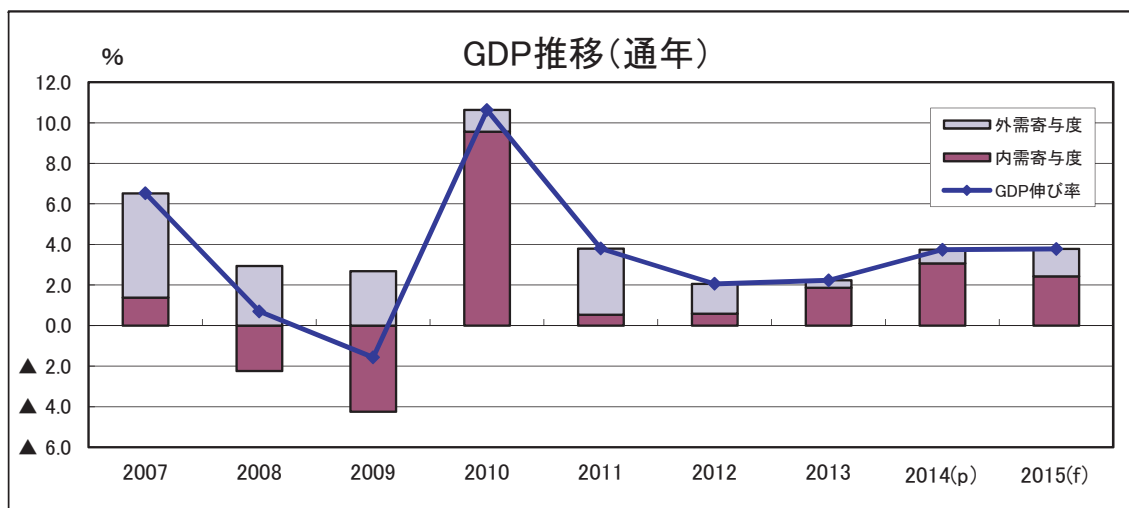
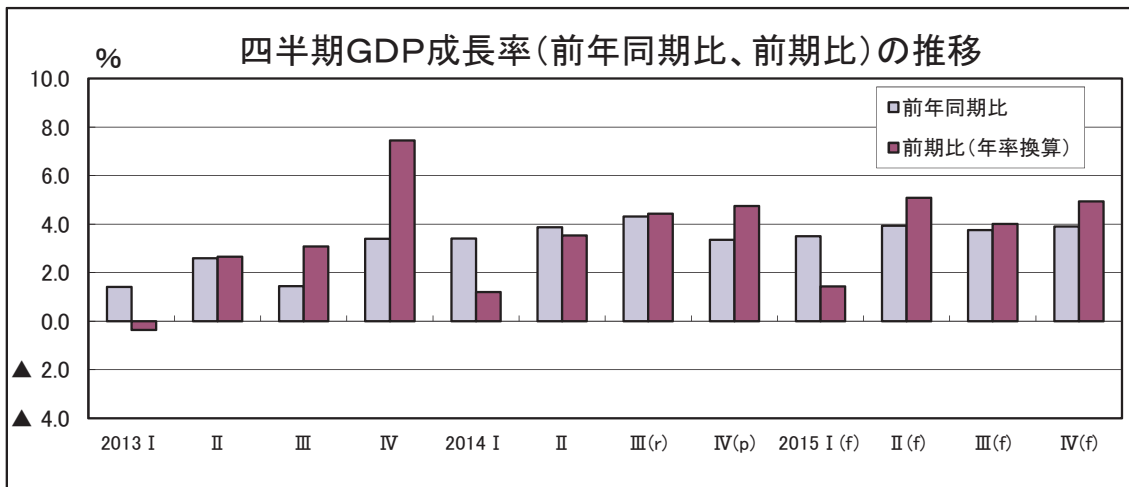
I 概要

行政院主計総処は2月16日、2014年第3四半期の国民所得統計の修正、2014年第4四半期の国民所得統計（速報値）、及び2015年の経済成長予測結果を発表した。

- 一、2014年第4四半期の対前年同期比成長率（速報値）は+3.35%、2015年1月時点の予測値3.17%より+0.18%ポイントの上方修正となった。また、第3四半期は+4.32%（元3.63%）に修正。
- 二、2014年上半期（第1、2四半期の対前年同期

比成長率はそれぞれ+3.41%、+3.87%）と併せた2014年通年の経済成長率は+3.74%となり、1月時点の予測値(+3.51%)より+0.23%ポイントの上方修正となった。一人当たりGDPは2万2,632米ドル、CPIは+1.20%の上昇となった。

- 三、2015年の経済成長率は+3.78%の予測であり、2014年11月時点の予測値+3.50%より+0.28%ポイントの上方修正。一人当たりGDPは2万2,823米ドル、CPIは+0.26%の上昇となる見通し。



Ⅱ 国民所得統計及び予測

一、2014年の経済成長（速報値）

(一) 2014年第4四半期GDP

2014年第4四半期の実質対前年同期比(yoy)(速報値)は+3.35%と、2015年1月時点の予測値+3.17%より0.18%ポイント上回り、2014年11月の予測値+2.83%より+0.52%ポイント上回った。また、対前期比成長率(季節調整後(saqr)(速報値))は+1.17%、年率換算値(saar)は+4.75%となった。

1、外需面

(1) 2014年第4四半期は、電子産品、機械及び基本金属などの輸出が引き続き拡大しているものの、鉱産品(主に重油、軽油)、プラスチック・ゴム、及びその製品などは縮小していることから、輸出(対前年同期比)は米ドルベースで+0.45%増(台湾元ベース+4.59%増)となった。サービス貿易を加え物価要因を控除した商品サービス輸出(対前年同期比)は、観光客の増加(+20.01%増)及び三角貿易の好転により+5.74%となった(2014年11月時点の予測値+6.11%より0.37%ポイント下回った)。

(2) 輸入については、消費財が引き続き成長しているものの、農工原料及び資本設備は縮小したことから、第4四半期の輸入は米ドルベースで▲3.23%(台湾ドルベース+0.41%)となった。サービス貿易を加え、物価要因を控除した商品サービス輸入(前年同期比)は+4.89%となった(2014年11月時点の予測値+7.41%を2.52%ポイント下回った)。

(3) 輸出と輸入を相殺した外需全体の経済成長率に対する寄与度は+1.04%ポイントとなった。

2、内需面

(1) 第4四半期は、主に観光名勝地の観光客数の増加(+8.35%)及び新車販売好調の持続、小型自家用車の新車プレート申請の増加(+4.31%)、加えてスマホ新商品の販売好調から、小売業全体の売

上額は同+3.08%となった。また、9合1総合選挙が一部民間消費の拡大(候補者の選挙経費を民間消費に計上)をもたらしたものの、食品安全問題の衝撃を受け飲食レストラン業売上額が僅か+0.29%にとどまるなど一部の消費成長に頭打ちとなったことから、第4四半期の民間消費(速報値)は対前年同期比実質成長率+2.39%、全体の経済成長率への寄与度は+1.26%ポイントとなった。

(2) 民間投資は、比較基準値が高いことから第4四半期の資本設備輸入(台湾元ベース)は▲1.74%となった一方、国内投資財生産指数は+11.18%となったことから、民間固定投資は+1.28%となった。実質政府投資(▲9.27%)、実質公営事業投資(+4.40%)、実質在庫調整(32億元の増加)を合計した第4四半期の資本形成(実質)は前期比成長率+2.68%となり、全体の経済成長率への寄与度は+0.59%ポイントとなった。

(3) 上記に政府消費(+3.05%)を加えた第4四半期の内需成長率は+2.57%、全体の経済成長率への寄与度は+2.31%ポイントとなった。

3、生産面

(1) 第4四半期の農業生産は+9.22%、工業生産は+6.39%となった。このうち、モバイル装置の販売好調、クラウド・コンピューティングの活用の増加が半導体、光学部品、パソコン設備及び部品の増産を押し上げ、機械設備及び基本金属生産も自動化機械設備の需要拡大による増産が持続していることから、第4四半期の実質製造業生産(速報値)は+7.43%(經濟部製造業生産指数の上昇率は+7.72%)、全体の経済成長率への寄与度は+2.12%ポイントとなった。

(2) サービス業では、小売業は食品安全問題の影響を受けたものの、業者による積極的な販促の実施から総合商品及び無店舗小売業の売上は良く、第4四半期の小売業売上額は+3.08%、卸売業売上額は

+ 1.06%となった。この結果、卸売小売業全体の実質成長率は+ 1.78%、経済成長率への寄与度は+ 0.32%ポイントとなった。

選挙活動はその他サービス業に属し、昨年末の9合1総合選挙の候補者数が過去2番目の高水準となったため、その他サービス業の実質成長は+ 9.25%となり、経済成長率への寄与度は+ 0.25%ポイントとなった。

金融保険業は、金融機関の利息収入純額が+ 6.43%、手数料収入が+ 6.28%、上場（店頭）株取引額が+ 3.51%となったことから、保険サービス及び投資信託顧問料などと併せた実質成長率は+ 3.17%、全体の経済成長率への寄与度は+ 0.20%ポイントとなった。

(二) 2014年の経済成長

1. 2014年第3四半期は、各種の主要経済指標に基づき修正を行ったところ、前年同期比(yoy)は+ 4.32%となり、2014年11月時点の予測値+ 3.63%より0.69%ポイントの上方修正となった。これは主に、保険事業発展センターや、経済部による「製造業投資及び運営概況調査」の最新資料に基づき、それぞれ民間消費、固定投資及び在庫調整などの項目について修正を行ったことによるもの。季節調整後の前期比成長率(saqr)は+ 1.09%、年率換算値(saar)は+ 4.43%となった。
2. 第3、4四半期を合計した2014年下半期の経済成長率は+ 3.83%となり、上半期の成長率+ 3.65%（第1四半期+ 3.41%、第2四半期+ 3.83%）と併せた2014年通年の経済成長率は+ 3.74%となった。2015年1月時点の予測値より0.23%ポイント上回り、2013年11月時点の予測値+ 3.43%より0.31%ポイント上回った。
3. 2014年の主要国の経済成長率の発表では、台湾+ 3.74%、韓国+ 3.3%、シンガポール+ 2.8%、中国+ 7.4%、アメリカ+ 2.4%となった。

二、2015年の経済展望

(一) 国際経済情勢

1. 米国、イギリスの経済成長の安定に加え、石油価格の値下げは世界景気の回復にプラスとなるものの、米国FEDによる利上げの時期、主要新興経済国による金融緩和政策の実施による世界金融市場への影響、石油価格及び原材料価格の変動などが今後の世界景気動向を左右する。
2. 世界的な経済予測機関であるGlobal Insight 1月の最新経済予測によると、2015年の世界経済の成長率見通しは+ 3.0%（2014年11月時点より+ 0.1%ポイントの下方修正）となり、2014年の+ 2.7%を上回る見通し。このうち、2015年の主要先進国経済の経済成長率は+ 1.8%から+ 2.3%（0.2%ポイントの上方修正）と2014年の+ 1.8%を上回り、新興経済国は+ 4.1%（0.4%ポイントの下方修正）と、2014年の+ 4.3%を下回る見通し。
3. 米国は、製造業のUターン投資政策が功を奏し、企業投資マインドの回復、労働市場の改善、及び石油価格の値下げが民間消費にプラスとなり、経済は堅調に成長することから、2015年の経済成長率は+ 3.1%（+ 0.5ポイント上方修正）となる見通し。
4. EU諸国は、金融緩和の刺激策があったものの、内需の回復は明らかではなく、回復のテンポが抑制される懸念があることから、2015年は+ 1.7%（横ばい）となる見通し。このうち、イギリスは+ 2.7%（+ 0.1%ポイント上方修正）、ドイツ+ 1.6%（横ばい）、フランス+ 0.9%（横ばい）、イタリア+ 0.5%（+ 0.1%ポイント下方修正）なる見通し。
5. 中国大陸は、経済構造調整及び生産過剰の淘汰が持続し、成長力が頭打ちとなることから、2015年は+ 6.5%（0.5%ポイント下方修正）となる見通し。また、日本は、金融緩和政策及び円安などにより消費税率の引き上げによる衝撃から次第に脱しつつあることから、2015年の経済成長率は+ 1.0%（+ 0.1%ポイント下方修正）と見る見

| | 商品貿易年増率 (通関ベース、%) | | 貿易黒字 (億米ドル) | 商品・サービス貿易の実質 成長率 (台湾元ベース%) | | 商品・サービ ス貿易収支 (億米ドル) |
|----------|----------------------|-------|----------------|-------------------------------|-------|---------------------------|
| | 輸出 | 輸入 | | 輸出 | 輸入 | |
| 2011年 | 12.26 | 12.02 | 268 | 4.20 | ▲0.46 | 338 |
| 2012年 | ▲2.30 | ▲3.90 | 307 | 0.41 | ▲1.78 | 381 |
| 2013年 | 1.41 | ▲0.21 | 355 | 3.51 | 3.34 | 478 |
| 2014年(p) | 2.74 | 1.60 | 396 | 5.70 | 5.44 | 555 |
| 上半期 | 1.94 | 1.06 | 162 | 4.66 | 3.81 | 229 |
| 下半期(p) | 3.51 | 2.15 | 234 | 6.66 | 7.03 | 326 |
| 2015年(f) | 1.02 | ▲2.07 | 484 | 7.26 | 6.27 | 663 |

込み。そのほか、香港の経済成長率は+3.0% (横ばい)、韓国は+3.5% (+0.3%ポイント上方修正)、シンガポールは+3.6% (0.6%ポイント下方修正) となる見通し。

(二) 2015年の国内経済予測

2015年の経済成長率は+3.78%で、2014年11月時点の予測値より+0.28%ポイント上方修正する見通しである。これは主に、内需の先行きが楽観視できることによるものである。

1、対外貿易

(1) 2015年の世界経済成長率は、2014年を上回ると見込まれている。国際通貨基金(IMF)は2015年の世界貿易量を+3.8% (2014年10月時点の予測値より1.1%ポイント下方修正) と、2014年の+3.1%を上回ると予測。半導体業者によるハイエンド製造工程の拡大、インターネットを活用した物流(IOT)などスマート技術の需要増加が期待されることは輸出にプラスとなるものの、石油価格及び工業原料価格の大幅下落は石油化学関連製品の輸出(名目)額の増加を抑制し、中国大陸での現地サプライチェーンの拡大などは輸出の増勢を抑制すると見込まれている。

(2) 2015年の米ドルベースの輸出額(税関ベース)は3,170億米ドル(2014年11月時点より88億米ドル下方修正)、前年同期比は+1.02% (+2.54%ポイント下方修正)となるが、サービス貿易を合計し、物価要因を控除した2015年の実

質輸出成長率は+7.26%となる見通し。一方輸入は、原材料価格の下落、及び輸出や内需に伴う原材料需要に伴う影響から、2015年通年では2,686億米ドル(186億米ドル下方修正)、同▲2.07% (5.50%ポイント下方修正)となる見通し。サービス貿易を合計し、物価要因を控除した2015年の実質成長率は+6.27%となる見通し。

2、民間消費

国内投資が引き続き成長し、企業の収益も良くなり、人材に対する需要増加はが就労増加及び賃金の成長につながり、加えて石油価格の値下げ及び消費性電子製品の発売が持続されることが民間消費の拡大にプラスとなることから、2015年通年の民間消費の名目成長率は+3.24%、実質成長率は+3.12%となる見通し。

3、固定投資

民間投資については、モバイル装置のハイエンドICチップに対する需要は依然として

| | 民間消費名目金額 (億元) | | 実質成長率 (%) |
|----------|------------------|--------|--------------|
| | | 年増率(%) | |
| 2011年 | 77,990 | 4.02 | 3.12 |
| 2012年 | 80,351 | 3.03 | 1.82 |
| 2013年 | 82,493 | 2.67 | 2.35 |
| 2014年(p) | 85,552 | 3.71 | 2.96 |
| 上半期 | 42,057 | 3.69 | 2.84 |
| 下半期(p) | 43,496 | 3.73 | 3.07 |
| 2015年(f) | 88,327 | 3.24 | 3.12 |

| | 固定投資名目金額(億元) | | | 固定投資実質成長率(%) | | | | |
|----------|--------------|--------|-------|--------------|-------|-------|--------|--------|
| | | 民間 | 政府 | 公営事業 | 民間 | 政府 | 公営事業 | |
| 2011年 | 33,469 | 25,585 | 5,686 | 2,199 | ▲1.15 | 1.20 | ▲5.78 | ▲13.44 |
| 2012年 | 32,821 | 25,670 | 5,110 | 2,041 | ▲2.61 | ▲0.35 | ▲10.95 | ▲7.42 |
| 2013年 | 33,712 | 26,771 | 4,936 | 2,004 | 4.98 | 6.67 | ▲2.70 | 2.96 |
| 2014年(p) | 34,687 | 27,993 | 4,594 | 2,100 | 1.74 | 3.36 | ▲8.22 | 4.40 |
| 上半期 | 16,946 | 14,176 | 1,952 | 818 | 1.29 | 2.85 | ▲7.46 | ▲2.47 |
| 下半期(p) | 17,741 | 13,816 | 2,642 | 1,283 | 2.16 | 3.88 | ▲8.76 | 9.23 |
| 2015年(f) | 36,110 | 29,773 | 4,507 | 1,830 | 3.76 | 5.98 | ▲2.20 | ▲12.72 |

旺盛であり、インターネットを活用した物流、膨大な資料への対応など新たな応用分野の需要の増加などから、半導体業者による投資は継続することが見込まれるほか、航空業者の航空機購入の拡大、製造業者の工場拡大の意欲の上昇、新設工場の社数・面積ともに増加していることから、2015年の民間投資実質成長率は+5.98%と3年連続のプラス成長となる見通し。また、公共事業投資を加えた実質固定投資は+3.76%となる見通し。

4、物価

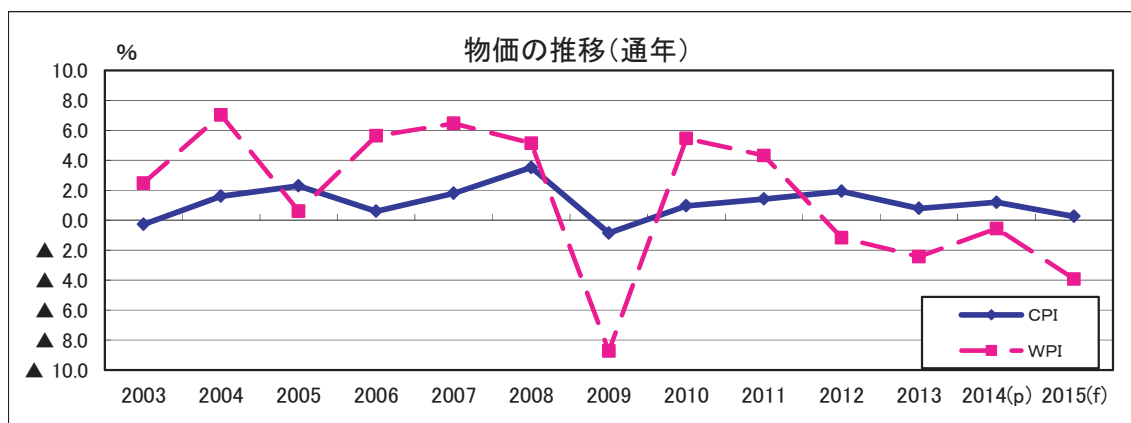
(1) 国際石油価格は大幅に下落し、2015年のOPECのバスケット原油価格は1バレル=58.5米ドル(2014年11月時点より24米ドル下方修正)となり、2014年のバスケット原油価格1バレル=96.3米ドルより37.8米ドルの下落となるも

のと想定。

(2) 原油以外の原材料価格も下落趨勢から、2015年の卸売物価指数(WPI)は▲3.92%(1.79%ポイント下方修正)となる見通し。

(3) CPIについては、石油価格の下落及びその影響効果、台湾電力による電気代のフィードバックの実施などから、2015年のCPIは+0.26%(0.65%ポイント下方修正)となる見通し。

5、以上の要因を総合し、2015年の経済成長率は+3.78%と、2014年11月時点の予測より0.28%ポイント上方修正。また、一人当たりGDP及びGNIはそれぞれ2万2,823米ドル、2万3,640米ドルとなる見通しであるほか、CPIは+0.26%となる見通し。



重要経済指標

| | 経済成長率(実質 GDP) (%) | | | 一人当たり GDP | | 一人当たり GNP | | 消費者物 価上昇率 (%) | 卸売物価 上昇率 (%) | 名目 GDP (百万台湾元) |
|----------|-------------------|---------------|-------|-----------|--------|-----------|--------|---------------------|--------------------|-------------------|
| | 前年 同期比 | 前期比 (年率換算) | 前期比 | 台幣元 | 米ドル | 台幣元 | 米ドル | | | |
| 2001年 | ▲1.26 | — | — | 454,687 | 13,448 | 463,282 | 13,703 | 0.00 | ▲1.35 | 10,158,209 |
| 2002年 | 5.57 | — | — | 475,484 | 13,750 | 486,280 | 14,062 | ▲0.20 | 0.05 | 10,680,883 |
| 2003年 | 4.12 | — | — | 486,018 | 14,120 | 500,594 | 14,544 | ▲0.28 | 2.48 | 10,965,866 |
| 2004年 | 6.51 | — | — | 514,405 | 15,388 | 530,835 | 15,879 | 1.61 | 7.03 | 11,649,645 |
| 2005年 | 5.42 | — | — | 532,001 | 16,532 | 544,798 | 16,930 | 2.30 | 0.61 | 12,092,254 |
| 2006年 | 5.62 | — | — | 553,851 | 17,026 | 567,508 | 17,446 | 0.60 | 5.63 | 12,640,803 |
| 2007年 | 6.52 | — | — | 585,016 | 17,814 | 599,536 | 18,256 | 1.80 | 6.47 | 13,407,062 |
| 2008年 | 0.70 | — | — | 571,838 | 18,131 | 585,519 | 18,564 | 3.52 | 5.14 | 13,150,950 |
| 2009年 | ▲1.57 | — | — | 561,636 | 16,988 | 579,574 | 17,531 | ▲0.86 | ▲8.73 | 12,961,656 |
| 2010年 | 10.63 | — | — | 610,140 | 19,278 | 628,706 | 19,864 | 0.96 | 5.46 | 14,119,213 |
| 2011年 | 3.80 | — | — | 617,078 | 20,939 | 633,822 | 21,507 | 1.42 | 4.32 | 14,312,200 |
| 2012年 | 2.06 | — | — | 631,142 | 21,308 | 650,660 | 21,967 | 1.93 | ▲1.16 | 14,686,917 |
| 2013年 | 2.23 | — | — | 652,020 | 21,902 | 670,226 | 22,513 | 0.79 | ▲2.43 | 15,221,201 |
| 第1季 | 1.41 | ▲0.36 | ▲0.09 | 157,625 | 5,334 | 163,622 | 5,537 | 1.80 | ▲3.07 | 3,676,446 |
| 第2季 | 2.60 | 2.66 | 0.66 | 158,927 | 5,306 | 162,027 | 5,410 | 0.80 | ▲3.13 | 3,709,075 |
| 第3季 | 1.45 | 3.08 | 0.76 | 165,241 | 5,517 | 169,566 | 5,661 | 0.04 | ▲2.54 | 3,858,380 |
| 第4季 | 3.40 | 7.45 | 1.81 | 170,227 | 5,745 | 175,011 | 5,905 | 0.56 | ▲0.94 | 3,977,300 |
| 2014年(p) | 3.74 | — | — | 687,343 | 22,632 | 710,407 | 23,390 | 1.20 | ▲0.55 | 16,081,798 |
| 第1季 | 3.41 | 1.20 | 0.30 | 164,640 | 5,423 | 171,935 | 5,663 | 0.80 | 0.07 | 3,848,723 |
| 第2季 | 3.87 | 3.53 | 0.87 | 167,510 | 5,554 | 172,685 | 5,726 | 1.63 | 0.68 | 3,917,365 |
| 第3季(r) | 4.32 | 4.43 | 1.09 | 174,762 | 5,814 | 178,954 | 5,953 | 1.51 | 0.01 | 4,089,643 |
| 第4季(p) | 3.35 | 4.75 | 1.17 | 180,431 | 5,841 | 186,833 | 6,048 | 0.84 | ▲2.96 | 4,226,067 |
| 2015年(f) | 3.78 | — | — | 719,497 | 22,823 | 745,231 | 23,640 | 0.26 | ▲3.92 | 16,881,614 |
| 第1季(f) | 3.50 | 1.43 | 0.36 | 172,952 | 5,478 | 181,409 | 5,746 | ▲0.33 | ▲7.62 | 4,053,920 |
| 第2季(f) | 3.93 | 5.08 | 1.25 | 176,598 | 5,605 | 181,744 | 5,768 | ▲0.26 | ▲5.67 | 4,141,786 |
| 第3季(f) | 3.76 | 4.01 | 0.99 | 182,297 | 5,785 | 187,352 | 5,946 | 0.29 | ▲3.24 | 4,278,380 |
| 第4季(f) | 3.90 | 4.94 | 1.21 | 187,650 | 5,955 | 194,726 | 6,180 | 1.33 | 1.07 | 4,407,528 |

r: 修正値、p: 速報値、f: 予測値

内需・外需寄与度 (対前期比、年率換算)

(単位：%)

| | GDP | 国内需要 | | | | 国外需要 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | | 民間消費 | 政府消費 | 固定資本形成 | 輸出 | 輸入 | |
| 2011 | | | | | | | |
| I | 8.40 | 2.97 | 4.06 | 8.80 | ▲2.51 | 9.92 | 2.30 |
| II | ▲0.85 | ▲2.34 | 0.30 | ▲3.49 | ▲7.18 | ▲2.21 | ▲4.52 |
| III | ▲0.04 | ▲4.61 | 3.55 | 6.49 | ▲26.31 | ▲8.37 | ▲15.69 |
| IV | ▲6.12 | ▲10.10 | ▲3.45 | 0.40 | ▲30.31 | 1.26 | ▲3.77 |
| 2012 | | | | | | | |
| I | 10.54 | 12.20 | 7.57 | 4.76 | 31.23 | ▲2.34 | ▲1.44 |
| II | ▲0.63 | 3.25 | ▲0.14 | 4.19 | 11.27 | 0.72 | 6.66 |
| III | 6.94 | 0.94 | 2.78 | ▲5.64 | 1.10 | 15.34 | 7.07 |
| IV | 0.93 | ▲3.41 | ▲2.13 | 4.81 | ▲11.47 | 1.08 | ▲5.08 |
| 2013 | | | | | | | |
| I | ▲0.36 | 7.57 | 4.79 | ▲5.04 | 24.54 | 0.42 | 12.17 |
| II | 2.66 | ▲0.98 | 3.54 | ▲1.04 | ▲11.04 | 3.36 | ▲1.83 |
| III | 3.08 | 1.24 | 1.45 | ▲1.59 | 2.65 | 1.57 | ▲1.23 |
| IV | 7.45 | 8.81 | 6.35 | 1.93 | 19.94 | 8.61 | 10.77 |
| 2014 | | | | | | | |
| I | 1.20 | 1.55 | ▲0.32 | 18.47 | ▲3.97 | 3.97 | 4.89 |
| II | 3.53 | 1.96 | 4.77 | ▲7.62 | 1.91 | 6.72 | 4.80 |
| III (r) | 4.43 | 7.08 | 3.30 | 3.73 | 19.25 | 9.56 | 14.49 |
| IV (p) | 4.75 | 0.63 | 2.63 | ▲0.15 | ▲3.52 | 4.01 | ▲2.04 |
| 2015 | | | | | | | |
| I (f) | 1.43 | 0.91 | 2.81 | ▲4.63 | 0.02 | 8.84 | 9.40 |
| II (f) | 5.08 | 5.32 | 4.09 | 0.72 | 11.44 | 7.08 | 7.81 |
| III (f) | 4.01 | 0.98 | 2.11 | ▲0.26 | ▲0.93 | 7.29 | 3.37 |
| IV (f) | 4.94 | 4.30 | 3.00 | ▲2.18 | 11.82 | 7.32 | 6.84 |

(出所) 行政院主計処、2015年2月16日発表

(注) ▲はマイナス。外需のマイナス (▲) の寄与度は、GDP に対してはプラスの寄与度となる。

2014年第4四半期国際収支を公表

中央銀行は、2月26日、2014年第4四半期の国際収支統計を発表した。主な内容は、下記のとおり。

1. 概要

2014年第4四半期の国際収支によると、経常収支が191.8億米ドルの黒字、金融収支が184.0億米ドルの流出超、総合収支が18.2億米ドルの黒字（中央銀行準備資産の増加）となった。

2. 内容

- (1) 経常収支については、第4四半期の輸出は、電子製品の輸出が大幅に増加し、鉱産品の輸出の減少を相殺したことから、前年同期比+0.5%増となった。輸入は、農工原材料及び資本設備の輸入減少により、同▲4.8%となった。輸出が増加し、輸入が減少したことから、貿易収支は前年同期と比べて36.3億米ドル増加し、142.6億米ドルの黒字となった。サービス収支は、旅行収入及び三角貿易（台湾発注、中国出荷）純収入の増加等により、前年同期と比べて3.6億米ドル増加し、30.2億米ドルの黒字となった。所得収支は、非居住者による投資所得の支払いの増加により、前年同期と比べて11.2億米ドル減少し、26.3億米ドルの黒字となった。また、経常移転収支は、前年同期と比べて0.2億米ドル増加し、7.3億米ドルの赤字となった。

このように、所得収支の黒字が減少し、経常移転収支の赤字が増加したものの、貿易収

支及びサービス収支の黒字が増加したことから、経常収支の黒字は、前年同期比28.5億米ドル増加（+17.4%）となった。

- (2) 金融収支については、直接投資及び証券投資はそれぞれ23.2億米ドル、141.6億米ドルの流出超となった。このうち証券投資については、居住者による対外証券投資が、保険会社による外国証券への投資の増加により、158.9億米ドルの流出超となった。また、非居住者による対内証券投資が、外資による株式投資の持続的な増加により、17.4億米ドルの流入超となった。その他、金融派生商品は2.6億米ドルの流出超、その他投資は銀行部門による外貨資金が潤沢であり、海外借入れの償還が増加したため、16.6億米ドルの流出超となった。

2014年通年では、経常収支が653.4億米ドルの黒字、金融収支が530.5億米ドルの流出超、国際収支は130.2億米ドルの黒字（中央銀行準備資産の増加）となった。

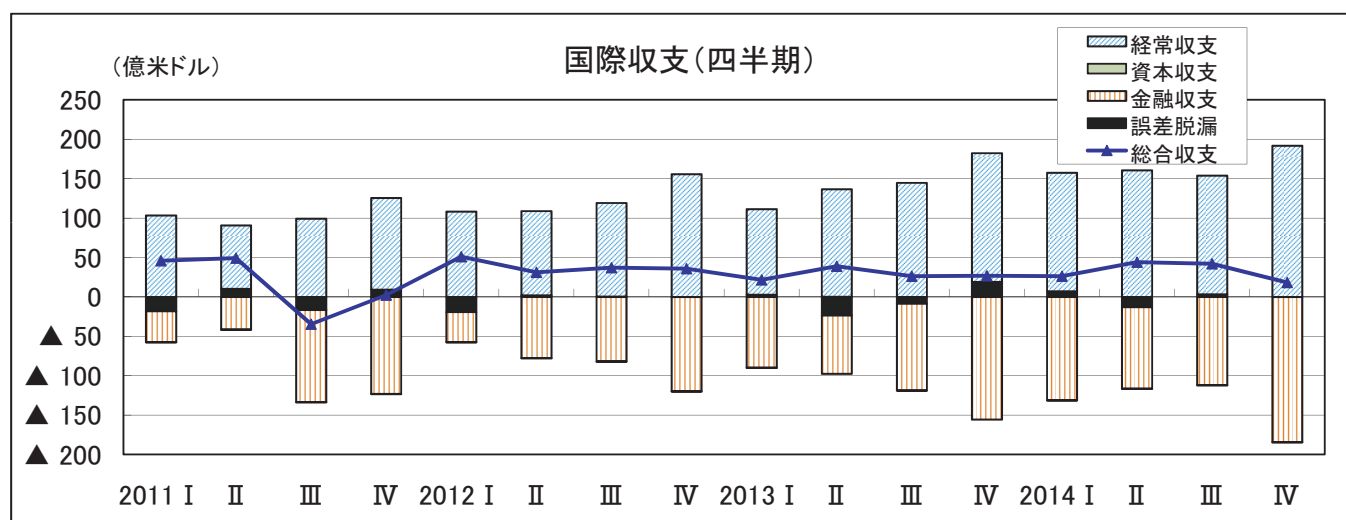
- (注) 台湾と日本では、国際収支統計の項目が一部異なっており、台湾における「金融収支」は、日本の国際収支統計の「投資収支」に相当するもの。

国際収支の推移

(単位：億米ドル)

| | 2009(r) | 2010(r) | 2011(r) | 2012(r) | 2013(r) | | | | | 2014(p) | I (r) | II (r) | III (r) | IV (p) |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|---------|--------|----------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | | I (r) | II (r) | III (r) | IV (r) | | | | | |
| 経常収支 | 419.5 | 384.6 | 399.3 | 489.5 | 552.6 | 108.4 | 136.2 | 144.6 | 163.3 | 653.4 | 150.4 | 160.5 | 150.7 | 191.8 |
| 貿易収支 | 295.8 | 251.0 | 265.5 | 299.2 | 354.5 | 47.6 | 100.3 | 100.3 | 106.4 | 414.9 | 68.4 | 101.8 | 102.0 | 142.6 |
| 輸出 | 2,024.3 | 2,724.1 | 3,059.9 | 2,990.5 | 3,032.3 | 721.0 | 773.0 | 756.2 | 782.1 | 3,115.5 | 727.6 | 795.0 | 806.8 | 786.2 |
| 輸入 (▲) | ▲1,728.5 | ▲2,473.1 | ▲2,794.5 | ▲2,691.4 | ▲2,677.8 | ▲673.4 | ▲672.7 | ▲655.9 | ▲675.8 | ▲2,770.7 | ▲659.2 | ▲693.2 | ▲704.8 | ▲643.6 |
| サービス収支 | 19.9 | 24.9 | 38.9 | 63.5 | 85.6 | 20.0 | 18.5 | 20.6 | 26.6 | 111.6 | 29.7 | 27.1 | 24.7 | 30.2 |
| 所得収支 | 125.2 | 135.8 | 131.8 | 153.0 | 142.4 | 47.2 | 24.1 | 33.6 | 37.5 | 154.7 | 56.1 | 39.9 | 32.4 | 26.3 |
| 移転収支 | ▲21.5 | ▲27.1 | ▲36.9 | ▲26.2 | ▲30.0 | ▲6.4 | ▲6.6 | ▲9.9 | ▲7.1 | ▲27.9 | ▲3.8 | ▲8.4 | ▲8.5 | ▲7.3 |
| 資本収支 (▲) | ▲1.0 | ▲1.2 | ▲1.2 | ▲0.8 | 0.1 | ▲0.2 | 0.3 | ▲0.1 | 0.1 | ▲0.8 | ▲0.2 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲0.3 |
| 金融収支 (▲) | 134.7 | ▲3.6 | ▲320.5 | ▲316.7 | ▲429.3 | ▲89.7 | ▲74.2 | ▲109.8 | ▲155.7 | ▲530.5 | ▲131.1 | ▲103.5 | ▲112.0 | ▲184.0 |
| 直接投資 (▲) | ▲30.7 | ▲90.8 | ▲147.2 | ▲99.3 | ▲106.9 | ▲32.2 | ▲22.7 | ▲24.3 | ▲27.7 | ▲97.6 | ▲21.8 | ▲31.6 | ▲21.1 | ▲23.2 |
| 証券投資 (▲) | ▲103.3 | ▲206.6 | ▲356.9 | ▲420.9 | ▲288.3 | ▲118.6 | ▲31.6 | ▲82.4 | ▲55.8 | ▲442.1 | ▲67.7 | ▲9.0 | ▲223.9 | ▲141.6 |
| デリバティブ(▲) | 8.5 | 5.8 | 10.4 | 3.3 | 7.7 | 1.3 | 2.5 | 1.2 | 2.8 | 2.8 | 1.3 | 1.7 | 2.4 | ▲2.6 |
| その他 (▲) | 260.2 | 288.1 | 173.3 | 200.2 | ▲41.8 | 59.8 | ▲22.3 | ▲4.4 | ▲75.0 | 6.4 | ▲42.9 | ▲64.7 | 130.6 | ▲16.6 |
| 誤差脱漏 (▲) | ▲12.0 | 21.9 | ▲15.3 | ▲17.2 | ▲10.2 | 3.0 | ▲23.5 | ▲8.6 | 19.1 | 8.1 | 7.1 | ▲13.0 | 3.3 | 10.7 |
| 中銀準備資産変動(▲) | ▲541.3 | ▲401.7 | ▲62.4 | ▲154.8 | ▲113.2 | ▲21.5 | ▲38.8 | ▲26.1 | ▲26.8 | ▲130.2 | ▲26.2 | ▲43.9 | ▲41.8 | ▲18.2 |

(出所) 2015.2.26 中央銀行発表 r : 修正値 p : 速報値



こまつ歌舞伎未来塾台湾公演事業

—第七回青少年才藝逗陣大會—

1 はじめに

こまつ歌舞伎未来塾は、石川県小松市に息づく伝統芸能の魅力を次の世代に伝え、将来の担い手を育成するために作られた伝統芸能教室です。歌舞伎、能楽、邦楽、義太夫の4教室があり、平成22年の設立以降、小松市と周辺市町の小・中学



生を中心に、多くの子供たちが伝統芸能を学んでいます。また、伝統芸能の素晴らしさ、小松の歌舞伎文化の魅力を多くの方々に発信しています。

この度、平成26年12月6日(土)、台湾・宜蘭県にある国立伝統芸術センターで開催された、「第七回青少年才藝逗陣大會」にご招待いただき、日本の伝統芸能を上演させていただきました。

こまつ歌舞伎未来塾では、発表会で日頃の成果を披露するほか、小松市内外で開催される文化イベントへの参加、福祉施設等への慰問活動などを行っていましたが、海外で公演を行うのは、今回の台湾公演事業が初めてでした。

初めての海外公演の機会を下さった交流協会、会場の国立伝統芸術センター、共演いただいた明心箏楽団の皆様をはじめ、公演に関わっていただきました皆様に、心から感謝いたします。

伝統芸能を通じた今回の交流が、台湾と日本をつなぐささやかな契機となり、今後も継続して交

流できることを願っております。

2 台湾と小松の文化交流

(1) 小松・台湾便デイリー化記念『台湾ウィーク』

こまつ歌舞伎未来塾台湾公演事業は、平成24年12月に小松・台北便がデイリー化されたことを記念して、平成25年8月19日(月)～25日(日)の期間に開催された『台湾ウィーク』を契機に、多くの方にご協力いただき実現しました。



「台湾ウィーク」は、小松市で毎年開催されている国際交流イベント「ジャパンテント in こまつ」と「スモールワールド in KOMATSU」に併せて行われ、台湾オペラの公演や写真展、グルメ屋台を通じた台湾文化の紹介が行なわれました。

① 台湾オペラ -小松公演-

平成25年8月25日(日)、台湾人間国宝の廖瓊枝氏が率いる台湾オペラ劇団と、台北市永樂国民小学校、新北市秀朗国民小学校の台湾こどもオペラ劇団による小松公演が開催されました。

台湾の伝統芸能「歌仔戲」(台湾オペラ)を見るために、小松市内のみならず市外・県外から延べ1,200人が訪れ、会場は大いに盛り上がりました。

公演には、小松市内のミュージカル劇団も出演

し、小松と台湾の演劇を通じた文化交流となりました。

② 台湾パネル写真展・台湾グルメ屋台

台湾観光協会やエバー航空の協力のもと、台湾の観光名所や建築物、料理などが紹介されました。揚げたてのさつまいも天ぷらや台湾の香辛料、台湾茶の飲み比べには、多くの方が関心を持ち、常に人だかりになる程、好評でした。

(2) 日・台青少年文化交流

歌手で日・台文化交流サポーターを努める寒雲さんは、平成4年から日本で歌手活動を行う傍ら、自身のチャリティコンサートや、伝統芸能や音楽を通じた台湾と日本の文化交流「日・台青少年文化交流」をプロデュースしています。

小松市では、平成13年に初めて明心箏楽団と正心箏楽団が小松市内の小学校を訪問し、箏の公演が行われました。その後、平成24年度からは毎年、明心箏楽団や台湾国民小学校の箏楽団が小松市の小・中学校を訪れ、箏の演奏を通じた交流を行っています。

しかし、今回の事業が実現するまで、小松市の小・中学生が台湾を訪問し、現地で日本の伝統芸能を披露する機会はなく、平成25年8月の台湾ウィークの開催を契機に、小松の伝統芸能をぜひ台湾で披露してほしいという声が上がりました。

(3) 小松市の伝統芸能を台湾へ

小松市は、小松の歌舞伎文化や伝統芸能の魅力を海外へ広く発信したいと、海外での伝統芸能公演を検討していました。そこで寒雲さんからのご提案を受け、こまつ歌舞伎未来塾を台湾に派遣し、伝統芸能の公演を実施しようという企画が持ち上がりました。

寒雲さんからご提案いただいた企画は、台湾・宜蘭県にある国立伝統芸術センターで、毎年12月の1ヵ月間を通して開催される「青少年才藝逗

陣大會」に明心箏楽団と一緒に、小松の伝統芸能団体が出演するというものでした。

平成26年5月、小松市から正式に依頼を受け、こまつ歌舞伎未来塾が台湾で小松の伝統芸能をご披露することになりました。こまつ歌舞伎未来塾では、歌舞伎・能楽・邦楽・義太夫の4つの伝統芸能教室を行っていますが、海外で公演するためには、舞台設営を軽微なものにする必要がありました。そして、わかり易く華やかな演目である、能「羽衣」と日本舞踊を上演することに決定しました。

能「羽衣」は、日本各地に伝わる「羽衣伝説」を元に作られた演目です。ヨーロッパ各地では「白鳥伝説」と伝えられていますが、少し違った物語になっています。

3 台湾公演に向けて

(1) オーディション

平成26年6月、台湾で日本の伝統芸能を上演できる貴重な機会を、より多くの子供たちに経験してもらうため、小松市と周辺市町の小中学生を対象に、子供役者を広く募集しました。

小松市・能美市・加賀市の3市から、14名の小中学生（日本舞踊4名、能10名）が応募され、なかには、伝統芸能を経験したことがない応募者もいました。オーディションでは、各人が台湾公演にかける熱い思いを表現してくれたため、指導者からは、本番までの5ヵ月あまりで舞台上に上がれる技術を伝えたいと評価され、応募者全員を採用し、台湾公演に臨むことになりました。

(2) 日・台青少年文化交流

台湾での公演に先立ち、平成26年9月25日（木）～9月29日（月）の5日間、台湾公演で共演する明心箏楽団と竹林国民小学校箏演奏団合わせて41名が、日・台青少年文化交流事業の一環で、小松市の小・中学校とこまつ歌舞伎未来塾を訪れ



ました。

訪問団は、小松市内の国府中学校と苗代小学校で、台湾伝統楽器「箏」の演奏会を行いました。その後、こまつ歌舞伎未来塾の稽古場所を訪れ、日本の伝統芸能「能」を鑑賞し、能で使用される和楽器や仕舞などの体験をしました。

能楽の体験では、こまつ歌舞伎未来塾の子供役者たちが積極的にコミュニケーションを図ろうと、台湾の小・中学生に和楽器の使い方や能特有の仕舞を教えていました。12月の本番を3ヶ月後に控えた子供役者たちにとって、共演するメンバーと事前に交流できたことは、海外公演の不安を取り除くとてもよい機会になりました。

また、この日は、明心箏楽団団長の林耕華さんと舞台監督を務める莫林以埜さんとお会いすることができ、舞台の設営や演出方法などを打ち合わせることができ、本番に向けた準備を一層進めることができました。

(3) 台湾講座

日・台青少年文化交流で、子供役者たちは、楽器や仕舞を通して、台湾の小・中学生と仲良くなることができましたが、言葉を使ったコミュニケーションはほとんどできませんでした。

そこで、石川県で活動する国際交流団体に協力いただき、台湾の文化や生活、あいさつなどの勉



強会を行いました。

子供役者たちは、台湾の食事やトイレのマナーに驚きながらも、あいさつや日常会話を積極的に練習しました。

(4) お披露目会

平成26年11月29日(土)、本番を直前に控え、こまつ歌舞伎未来塾を応援してくださった小松市民の皆様にお稽古の成果を披露しました。

お披露目会では、台湾で上演する、日本舞踊「花見道成寺」「菊づくし」「藤娘」、能「羽衣」を上演し、子供役者が一人ずつ、「日本の文化を伝えられるように頑張りたい」など、抱負を語りました。

公演の仕上がりは、とても素晴らしいものでした。観客のみなさまからは、自信を持って日本の伝統芸能の魅力を伝えてきてくださいと励ましのお言葉をいただきました。

4 こまつ歌舞伎未来塾台湾公演

(1) 台湾公演事業のスケジュール

こまつ歌舞伎未来塾台湾公演 - 第七回青少年才藝逗陣大會 - の日程

12月4日(木)

小松空港から台湾・桃園国際空港へ。城市商

旅・航空館に宿泊。

12月5日（金）

会場・宿舎である宜蘭県・国立伝統芸術センターに移動。第七回青少年才藝逗陣大會の記者会見に参加。リハーサル後、明心箏楽団と夕食会・交流会。

12月6日（土）

第七回青少年才藝逗陣大會に出演、午前・午後の2回公演。

〈演目〉日本舞踊：「花見道成寺」「菊づくし」「藤娘」 能：「羽衣」

公演終了後、台北市内へ移動。士林夜市を観光。インペリアルホテル台北に宿泊。

12月7日（日）

忠烈祠、総督府、中正紀念堂を観光。

昼食後、桃園国際空港から小松空港へ。

（2）台湾公演に向けて小松を出発【平成26年12月4日（木）】

いよいよ台湾に向けて出発する日。直前まで体調を崩していた子供役者も回復し、全員で出発日を迎えることができました。

海外旅行自体が初めてという子供役者も多く、緊張の中で搭乗手続きを終えました。

小松空港台湾便の出発時刻は、日本時間19時30分と遅い時間のうえ、使用する飛行機が遅れたこともあり、台湾・桃園国際空港に到着した時には、台湾時間の23時を過ぎていました。

到着ロビーに着くと、林さんをはじめ、明心箏楽団の皆さんが出迎えに来てくれました。子供役者は小学4年生から中学1年生までと、普段であれば、寝ている時間ですが、友達との再会に元気な姿を見せてくれました。

しかし、翌日の出発時刻は早朝6時、急いで宿泊ホテルに向かいました。

（3）本番前日！大忙しの日です【平成26年12月5日（金）】

〈会場・国立伝統芸術センターへ〉

早朝6時、会場となる宜蘭県・国立伝統芸術センターに向けて出発しました。

前日の夜は、あまり休めていないにもかかわらず、移動のバスでは、子供役者たちは元気に大はしゃぎ。初めて見る街の景色を楽しんでいました。

〈記者会見〉

午前9時30分ごろ、国立伝統芸術センターに到着すると、すでに記者会見の準備が行われており、リハーサルの開始まで30分しかありません。日本舞踊と能の2芸能の紹介をしたいところでしたが、30分では能の準備はとても間に合いません。日本舞踊を演じる子供役者が、できる限りの着付け・メイクを行いました。

記者会見は、第7回青少年才藝逗陣大會に出場する、明心箏楽団、宜蘭育英國小歌仔戲團とこまつ歌舞伎未来塾の3団体で行いました。

リハーサルの舞台裏では、子供役者たちが早速、日本で勉強した台湾語で話しかけます。台湾語で





あいさつすると、日本語で答えてくれる場面もあり、お互いに名前や年齢など自己紹介をしていました。台湾の子供役者やスタッフからは、衣裳がとても綺麗だと言ってもらえ、写真撮影を受けていました。

記者会見では、公演当日に演じる演目の一つ、日本舞踊「藤娘」を披露しました。

その後、司会者の簡愷樂さんから、こまつ歌舞伎未来塾の活動や日本舞踊の衣裳などを紹介していただきました。また、舞台あいさつ中には、簡さんから、日本舞踊の決めポーズを教えてほしいと言われ、子供役者が自分の好きなポーズを取ると、一緒に真似してくれる場面もありました。

記者会見には、台湾のテレビ局や新聞社など多くの方々に来ていただき、翌日の新聞やインターネットで大きく紹介していただきました。

〈リハーサル〉

記者会見を無事に終わると、午後からのリハーサルに向けて、舞台の準備を始めました。

日本での上演映像を事前に舞台スタッフに渡して頂いていたこともあり、舞台設営については問題なく進めることができました。

使用する舞台は、普段よりも奥行きが短いものになり、子供役者たちは舞台に入るなり、立ち位置や通り返の確認を入念に行いました。

司会も入れたリハーサルが始まると、演目の紹介が台湾語でされるため、出だしのタイミングが分かりません。子供役者には、その場の流れに合わせて演出することが求められましたが、リハーサル中にうまく対応できるようになりました。

〈夕食会〉

リハーサルを終えると、明心箏楽団が夕食会と交流会を開催してくれました。

台湾に来て、ホテルの朝食やお弁当などをいただいていたため、本格的な台湾料理はこの夕食会が初めてでした。

子供役者たちは、何かよく分からないけどおいしいと初めての台湾料理に喜んでいました。また、台湾の料理や香辛料のことを教えていただき、保護者も一緒に食事を楽しみました。



食事を終えると、子供役者たちは、日本から持ってきた折り紙を取り出します。台湾でも折り紙はあるようですが、鶴や花、ハートなど、いろいろなものを折ってプレゼントすると、大変喜んでもらえました。

〈交流会〉

国立伝統芸術センターの体育館で交流会が行われ、明心箏楽団のみなさんから、台湾の遊びを教えてもらい、一緒に体験しました。

子供役者はあいさつ程度の台湾語しか勉強していないので、片言の英語やジェスチャーでルールを教えてもらいます。

翌日に本番を控えているので、1時間ほどの短い時間でしたが、より一層親睦を深めることができました。



（4）いよいよ本番当日！【平成 26 年 12 月 6 日（土）】

〈本番成功への決意〉

こまつ歌舞伎未来塾台湾公演の本番当日、子供役者たちは、前日までの疲れも見せず、元気な様子で舞台に集まってきます。

普段のお稽古や発表会で経験を積んできた子供役者ばかりで、緊張することもなく、早く舞台を楽しみたいという声が多かったことには驚かされ



ました。

本番直前の舞台裏では、指導者から「自信を持って日本の伝統芸能を披露してほしい」と、激励がありました。6月から約半年の間、子供役者の成長を見守ってきた指導者の胸にも込み上げるものがあり、全員で舞台の成功を誓いました。

〈第七回青少年才藝逗陣大會〉

第一幕 明心箏楽団

（台湾箏楽曲）

- 1 迎賓曲
- 2 驛馬車
- 3 友邦本色
- 4 台東遊子吟
- 5 春神
- 6 雁渡斜陽
- 7 酒狂

第二幕 こまつ歌舞伎未来塾

（日本舞踊）

- 1 花見道成寺
- 2 菊づくし
- 3 藤娘

第三幕 こまつ歌舞伎未来塾

（能）

1 羽衣

第四幕 明心箏樂團

(台灣箏樂曲)

1 豫遊傳藝

〈満員御礼〉

会場には、すでに多くのお客さんが集まり、台湾の芸能への関心の高さが伺えました。

お客さんの手元を見ると、こまつ歌舞伎未来塾が書かれたチラシを持っていました！

当日まで知らされていなかったのですが、国立伝統芸術センターが観客の皆さんに配ってくださっていたのです。チラシには、こまつ歌舞伎未来塾の紹介や台湾と小松の文化交流などが書かれており、来場のみなさんへのPRになりました。

明心箏樂團の箏の演奏が始まると、子供役者たちは舞台袖に移動します。

ここでも、子供役者は全く緊張する様子は見せず、本番はどのように紹介されるかな？と楽しみに待っていました。



〈日本舞踊「花見道成寺」「菊づくし」「藤娘」〉

明心箏樂團の演奏が終わり、司会者がこまつ歌舞伎未来塾の紹介をしていると、1演目の「花見道成寺」の音楽が鳴り始めます。このタイミング



に、子供役者も驚いていましたが、上手く曲調にあわせ、舞台に上がります。

華やかな衣裳で優雅な舞(踊り)を披露すると、会場からは大きな拍手が起こります。

日本舞踊の魅力は、手先や目線、ちょっとした首や肩の使い方によって、細やかな心情を表現するところにあります。

会場のスクリーンには、演目の紹介が台湾語で表示されており、観客の皆さんにも、演技に込められた心情が伝わったのではないかと思います。

〈能「羽衣」〉

日本舞踊に続いて、能「羽衣」の上演です。

能の演技は、ゆったりとした動作で、喜怒哀楽の表現を最小限にし、笑い声や泣き声はなく、舞いや振りで心情を表現します。そのため、歌仔戲や日本舞踊と比べると華やかな動きが少なく、台



湾の観客の皆さんに受け入れていただけるか不安でした。

「羽衣」の元となるのは、世界各地に残る「白鳥伝説」と言われておりますが、能「羽衣」では、すこし違った物語になっています。

白鳥伝説では、男(漁夫)が羽衣を返さないの、天女はやむを得ず男の妻となり、子供ができた後、隙を見て羽衣を取り返し、天界に帰ります。しかし、能「羽衣」では、男が天女の悲しむ姿を哀れんで、自ら羽衣を返すように作られ、男と天女のやり取りが、作品を格調あるものになっています。

観客の皆さんは、能のゆったりとした動作に驚いていたかもしれませんが、スクリーンに移される台湾語訳を見ながら、能の舞いと日本特有の物語に魅入っていました。

〈フィナーレ〉

能の上演では、普段以上に声と音が出ており、今までの中でも最高の舞台に仕上がりました。観客の皆さんからは、日本舞踊と同様に大きな拍手と声援をいただきました。

能の出演者が退場すると、ステージの後ろから明心箏楽団の演奏が始まり、会場全体が盛り上がる中、出演者全員がステージ上がりフィナーレを迎えます。

司会者から、出演した子供たちが紹介され、台湾と日本の共演舞台を行えたことを感謝し、こま



つ歌舞伎未来塾台湾公演事業を成功裏に終えることができました。

〈国立伝統芸術センター出発の時〉

フィナーレを終えた舞台裏では、出演者や関係者が集まり記念撮影を行いました。

9月に初めて会った仲間ですが、子供たちはすっかり友達になり、写真を撮り合っていました。会場を出発する時間が迫っていました。

今回、共演した仲間の何人かは、2月に日本にやってきます。日本での再会を約束し、国立伝統芸術センターをあとにします。

〈士林夜市〉

台北市に戻ると、ここからはお待ちかねの台湾観光です。

翌日のお昼に出国するまでの僅かな時間でした

が、見事に日本の伝統芸能の魅力を伝えた子供役者に、台湾を楽しんでもらおうと、士林夜市へ向かいます。

バスの中では疲れを見せていても、台湾公演を無事やりとげた安堵感、そして成功させた充実感もあり、士林夜市に着くと、子供達は元気を取り戻し、買い物や台湾式かき氷などを満喫していました。

(5) 台湾お別れの日【平成 26 年 12 月 7 日(日)】

〈台湾観光〉

こまつ歌舞伎未来塾台湾公演の最終日。

台北市内のお土産店や、忠烈祠、総督府、中正紀念堂などをめぐり、台湾の歴史文化に触れました。

〈日本に帰国〉

日本時間 18 時頃に、日本に戻ってくると、子供役者の保護者をはじめ、小松市の職員の皆さんが出迎えてくれました。

訪問団の団長からは、「大変素晴らしい公演でした、台湾の人たちに日本の伝統を伝えた貴重な機会を誇りにし、今後も小松の伝統を守って欲しい」と感謝と激励の言葉をいただきました。

今回の訪問団は、オーディションで選ばれた一時的な組織でしたが、これからも一緒に活動を続けたいという気持ちがみんなの中に溢れていまし



た。しばらくは、それぞれの芸能に分かれて活動することになりますが、また同じ舞台に立とうと約束し、こまつ歌舞伎未来塾台湾公演の訪問団は解散となりました。

5 参加者の感想

〈日本舞踊〉

稚松小学校 5 年 村井 浩之助

僕は、市川流の踊りを今年の冬に習い始めました。台湾公演のオーディションが 6 月だったので、習い始めてまもなく、合格できるか不安でした。だから、合格して公演に参加できることになった時は、家中を走り回りたいくらい大喜びしました。

それで、いい演技を披露できるように市川ぼたん先生のお稽古も家での演習も必死でがんばりました。

台湾公演では、先生に教わったことを注意して、今までの成果を出せるようにがんばりました。

最初は、難しそうだったけど、練習を積み重ねていくうちに自信ができました。がんばって、とても自分のためになりました。

台湾では、移動時間が多く大変でしたが、最後は現地の人たちや明心箏楽団のみなさんや、竹林小学校のみなさんと楽しい交流ができて、とても楽しかったです。特に日本側にも台湾側にも男の子がいなくて残念でしたが、交流会に来てくれた男の子が一人いて、その子と仲良くできてうれしかったです。英語でしゃべりかけてくれたので、僕も英語の勉強をしたいと思います。

また、最初は、女の子ばかりでちょっとつまらなかったけど、少しずつ話しをしたり交流したりして、帰ってからは、あのメンバーでもう一度台湾に行きたいと思いました。

この台湾公演は、僕にとってものすごく楽しい思い出となりました。本当にありがとうございました。

これからも踊りを頑張っていきたいと思います。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

〈能〉

芦城中学校1年 朝井たしぎ

私が、台湾公演で一番うれしかったことは、日本で交流会をした時にあった人が、私のことを覚えていてくれたことです。その子は、公演をする国立伝統芸術センターで、私に手を振ってくれました。もしかしたら、その子は何となく手を振っただけかもしれません。でも、私はそれだけでとてもうれしく感じました。

能の本番は、リハーサルの時に舞台にあったほこりを吸ってしまって、声が出にくくなってしまいました。でも、同じ地謡の、瑠奈やひたきやはるかちゃんがとてもがんばってくれて、最高の舞台になりました。それと同時に、私の目標だった「楽しく謡う」という目標を達成することができました。

交流会では、まずみんなでご飯を食べました。私は、日本から和風の折り紙を持って行きました。なぜなら、小学生の頃に外国の人の前で折り紙を折ってプレゼントしたら、とても喜んでくれたからです。私が、台湾の通訳の人に台湾に折り紙があるか聞いてみました。

そしたら、台湾の折り紙があると答えたので、折り紙を折ってプレゼントして、喜んでもらえるのかとても心配になりました。

けれど、みんなで折り紙を折って台湾の人にプレゼントすると、とても喜んでくれました。

途中で、台湾の人たちにハートの折り方を教えました。たまに、言葉が必要なときはシテのもちゃんが英語を習っているので、英語で言ってもらおうと通じました。

私が今回の台湾公演で学んだことは、言葉が通じなくても、楽しめるということです。日本の能や日本舞踊は中国語になってパネルに出ていましたが、台湾の人の劇は日本語になって出てきませんでしたが、動作などでどんな劇なのか分かりました。交流の時も、ほとんど話さずに、ジェスチャーなどで伝えることができました。

台湾で公演をすることができたのは、日頃お世話になっている長野先生や、サポートしてくださった多くの人のお陰です。その人達への感謝を込めて、これからも能を続けていきたいと思っています。

6 おわりに

こまつ歌舞伎未来塾台湾公演事業で、台湾の歴史や文化を学び、芸能を通じた文化交流をすることができたことは、訪問した子供役者たちにとって、貴重な財産になったと思います。また、台湾の皆さんに、日本の伝統芸能を鑑賞するだけでなく、実際に体験してもらうことができたことを大変嬉しく思います。

改めて、交流協会、国立伝統芸術センター、明心箏楽団の皆さんをはじめ、ご協力いただきましたすべての方々に心から感謝いたしますとともに、今回の公演を契機に、台湾と日本、小松市との交流がますます進むことを期待しています。

こまつ歌舞伎未来塾といたしましても、台湾をはじめ、海外の皆さんに日本の伝統芸能の魅力を伝える活動を続けていきたいと思っています。

コラム

初めての台湾旧正月

昨年末に着任して1か月と少し。右も左もわからないときよろきよろしていたらアッという間に旧正月。

皆が長い休みを利用して日本に帰ったり旅行したりしている中、今年はのんびり過ごそうと考えていた矢先に台湾の友達から「一緒に年越ししない？」の連絡。せっかくなので台湾の普通の旧正月を体験しに隣の市まで。。。。

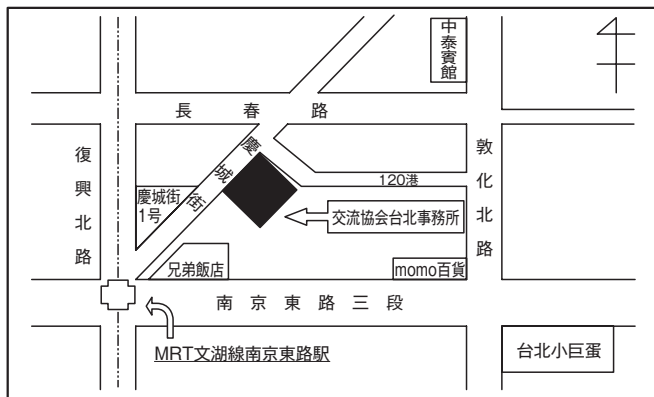
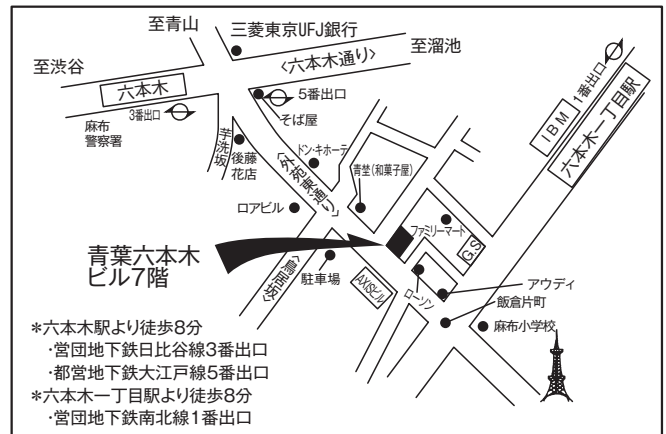
親族一同が集まった一家大団欒に圧倒されけれど、たくさんの手作りの御馳走（豚の角煮が最高！）と乾杯の嵐ですぐに仲良し。この想像以上に騒々しい家庭（「ウチ、スゴイヨ〜」by友人談）は、紅包タイムでクライマックス。くじ引きやゲームを織り交ぜて紅包を出す方も貰う方も大賑わい。台湾の人たちがこの時期をととても大切にしている理由がよくわかった日でした。

心も体もほっこりでみんなとさよならしたのはよかったけど、市内に戻るタクシーを捕まえるのに40分くらい寒空をさまよったのはご愛嬌。

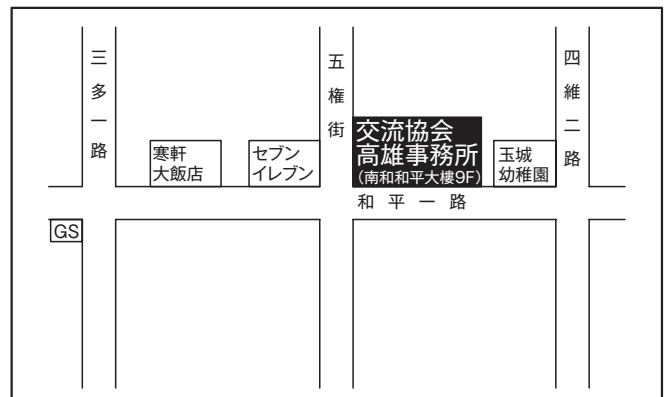
新年快樂！
(K.N)

平成27年3月25日 発行
 編集・発行人 舟町仁志
 発行所 郵便番号 106-0032
 東京都港区六本木3丁目16番33号
 青葉六本木ビル7階
 公益財団法人 交流協会 総務部
 電話 (03) 5573-2600
 F A X (03) 5573-2601
 U R L <http://www.koryu.or.jp>

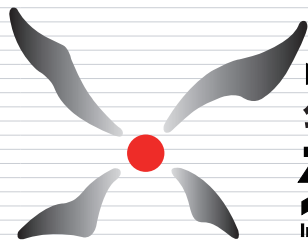
表紙デザイン：株式会社 丸井工文社
 印刷所：株式会社 丸井工文社



台北事務所 台北市慶城街28號 通泰大樓
 Tung Tai BLD., 28 Ching Cheng st., Taipei
 電話 (886) 2-2713-8000
 F A X (886) 2-2713-8787
 URL http://www.koryu.or.jp/taipei/ez3_contents.nsf/Top



高雄事務所 高雄市苓雅区和平一路87号
 南和和平大樓9F
 9F, 87 Hopping 1st. Rd., Lingya Qu, kaohsiung Taiwan
 電話 (886) 7-771-4008 (代)
 F A X (886) 2-771-2734
 URL http://www.koryu.or.jp/kaohsiung/ez3_contents.nsf/Top



日本と台湾との架け橋
公益財団法人
交流協会
Interchange Association, Japan (IAJ)

